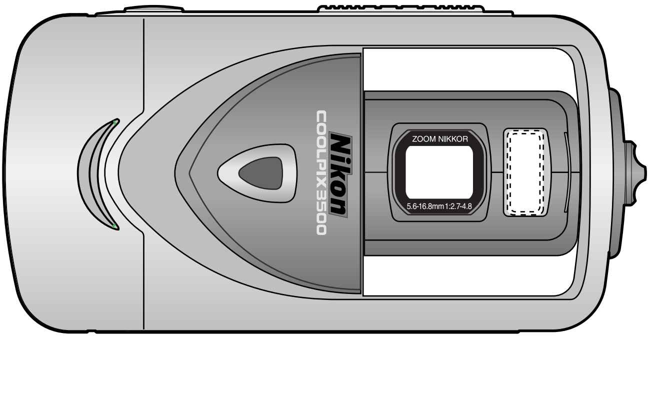
Jp

ニコンデジタルカメラ

COOLPIX3500

クールピクス3500



使用説明書

COOLPIX3500 (Jp)

操作の流れと簡単参照ガイド

カメラの準備をする

撮影前の準備をする ▶	撮影前の準備	16
カメラの各機能をセットアップする ▶	セットアップメニュー	61

撮影する

オートで撮影する ▶	撮影する	23
撮りたいシーンに合わせて撮影する ▶	シーンモードで撮影する	36
好みの設定にして撮影する ▶	カメラの撮影機能の詳細	42

再生する

撮影しながら確認する ... ▶	撮影した画像を確認する	32
撮影後まとめて再生する ... ▶	基本的な再生	70

... 削除する

画像の記録中に削除する ▶	記録中の画像の削除と表示の延長	50
撮影しながら削除する ▶	簡易再生モード	33
再生しながら削除する ▶	基本的な再生	70
まとめて削除する ▶	再生メニュー：削除	78

ソフトウェアをインストールする

ソフトウェアをインストールする ▶	クイックスタートガイド（付属）
Nikon View を使用する ▶	Nikon View リファレンスマニュアル （CD-ROM）（付属）

撮影した画像を転送する

パソコンに接続する ▶	クイックスタートガイド（付属）

COOLPIX3500のマニュアルについて
クールピクス

COOLPIX3500には次の説明書が付属しています。製品をご使用になる前にこれらの説明書をよくお読みいただき、内容をご理解のうえ、正しくお使いください。

クイックスタートガイド
クイックスタートガイドは、COOLPIX3500をすぐに楽しんでいただけるように、撮影前の準備から、撮影・再生、そして撮影した画像をパソコンに転送するところまでの基本操作をステップごとに簡単に説明しています。

使用説明書
使用説明書は、COOLPIX3500の操作方法と撮影した画像の楽しみ方について十分に理解していただけるように基本操作から応用まで順を追って詳しく説明しています。

Nikon Viewリファレンスマニュアル(CD-ROM)
Nikon Viewリファレンスマニュアルは、COOLPIX3500に付属しているCD-ROM内に収録されています。
Nikon Viewリファレンスマニュアルの読み方については、付属のクイックスタートガイドをご覧ください。

安全上のご注意

ご使用の前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。この「安全上のご注意」は、製品を安全に正しく使用していただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために重要な内容を記載しています。お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

表示と意味は、次のようになっています。

⚠**危険**	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が高いと想定される内容を示しています。
⚠**警告**	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠**注意**	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

絵表示の例



△ 記号は、注意（警告を含む）を促す内容を告げるものです。図の中や近くに具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。



⃠ 記号は、禁止（してはいけないこと）の行為を告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



● 記号は、行為を強制すること（必ずすること）を告げるものです。図の中や近くに具体的な強制内容（左図の場合はプラグをコンセントから抜く）が描かれています。

⚠ 警告（カメラについて）



分解禁止

分解したり修理・改造をしないこと

感電したり、異常動作をしてケガの原因となります。



接触禁止



すぐに
修理依頼を

落下などによって破損し、内部が露出したときは、露出部に手を触れないこと

感電したり、破損部でケガをする原因となります。
電池、電源を抜いて、販売店または当社サービス部門に修理を依頼してください。

⚠ 警告（カメラについて）

電池を取る
すぐに修理依頼を

熱くなる、煙が出る、こげ臭いなどの異常時は、速やかに電池を取り出すこと

そのまま使用すると火災、やけどの原因となります。
電池を取り出す際、やけどに十分注意してください。
電池を抜いて、販売店または当社サービス部門に修理を依頼してください。

水かけ禁止

水につけたり、水をかけたり、雨にぬらしたりしないこと

発火したり感電の原因となります。

使用禁止

引火・爆発のおそれのある場所では使用しないこと

プロパンガス、ガソリンなどの引火性ガスや粉塵の発生する場所で使用すると、爆発や火災の原因となります。

発光禁止

車の運転者等にむけてスピードライトを発光しないこと

事故の原因となります。

発光禁止

スピードライトを人の目に近づけて発光しないこと

視力障害の原因となります。
特に乳幼児を撮影するときは 1m 以上離れてください。

保管注意

幼児の口に入る小さな付属品は、幼児の手の届かないところに置くこと

幼児の飲み込みの原因となります。
万一飲み込んだ場合は直ちに医師にご相談ください。

警告

ストラップが首に巻き付かないようにすること
特に幼児・児童の首にストラップをかけないこと

首に巻き付いて窒息の原因となります。

警告

指定の電池または専用 AC アダプタを使用すること

指定以外のものを使用すると、火災・感電の原因となります。

使用禁止

AC アダプタ使用時に雷が鳴り出したら、電源プラグに触れないこと

感電の原因となります。
雷が鳴り止むまで機器から離れてください。

⚠ 注意（カメラについて）

感電注意

ぬれた手でさわらないこと

感電の原因になることがあります。

使用注意

レンズ回転部のすきまに指を入れないこと

指などをはさまれ、ケガの原因となることがあります。
特に小さなお子様にはご注意ください。

使用注意

カメラを持ち運ぶときは、レンズ部を収納させること

指などをはさまれ、ケガの原因となることがあります。

保管注意

製品は幼児の手の届かないところに置くこと

ケガの原因になることがあります。

保管注意

使用しないときは、レンズ部を収納し、太陽光のあたらない所に保管すること

太陽光が焦点を結び、火災の原因になることがあります。

移動注意

三脚にカメラを取り付けたまま移動しないこと

転倒したりぶつけたりして、ケガの原因となることがあります。

禁止

長期間使用しないときは電源（電池や AC アダプタ）を外すこと

電池の液漏れにより、火災、ケガや周囲を汚損する原因となることがあります。

プラグを抜く

AC アダプタで使用されている場合には、AC アダプタを取り外し、その後電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。

使用注意

飛行機内で使うときは、航空会社の指示に従うこと

本機器が出す電磁波などにより、飛行機の計器に影響を与えるおそれがあります。
病院で使う際も、病院の指示に従ってください。

禁止

本機器や AC アダプタは布団でおおったり、つつんだりして使用しないこと

熱がこもりケースが変形し、火災の原因となることがあります。

放置禁止

窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しないこと

ケースや内部の部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。

⚠ 危険（専用リチウムイオン充電池について）

禁止	**電池を火に入れたり、加熱しないこと** 液もれ、発熱、破裂の原因となります。
分解禁止	**電池をショート、分解しないこと** 液もれ、発熱、破裂の原因となります。
危険	**専用の充電器を使用すること** 液もれ、発熱、破裂の原因となります。
危険	**ネックレス、ヘアピンなどの金属製のものと一緒に持ち運んだり、保管しないこと** 液もれ、発熱、破裂の原因となります。
使用禁止	**Li-ionリチャージャブルバッテリーEN-EL2は、ニコンデジタルカメラ専用の充電式電池で、COOLPIX3500に対応しています。EN-EL2に対応していない機器には使用しないこと。** 液もれ、発熱の原因となります。

⚠ 警告（専用リチウムイオン充電池について）

保管注意	**電池は幼児の手の届かない所に置くこと** 幼児の飲み込みの原因となります。 万一飲み込んだ場合は直ちに医師にご相談ください。
水かけ禁止	**水につけたり、ぬらさないこと** 液もれ、発熱の原因となります。
警告	**変色・変形、そのほか今までと異なることに気づいたときは、使用しないこと** 液もれ、発熱の原因となります。
警告	**充電の際に所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合には、充電をやめること** 液もれ、発熱の原因となります。
警告	**電池を廃棄するときは、テープなどで接点部を絶縁すること** 他の金属と接触すると、発熱、破裂、発火の原因となります。 お住まいの自治体の規則に従って正しく廃棄してください。

ご確認ください

●ラジオ、テレビなどへの電波障害についてのご注意

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。使用説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

●保証書とカスタマ登録カードについて

この製品には保証書とカスタマ登録カードが付いていますのでご確認ください。「保証書」は、お買い上げの際、ご購入店からお客様へ直接お渡しすることになっております。「ご愛用者氏名」および「住所」「ご購入年月日」「ご購入店」がすべて記入された保証書を必ずお受け取りください。「保証書」をお受け取りになりませんと、ご購入1年以内の保証修理が受けられないことになります。もし、お受け取りにならなかった場合は、ただちに購入店にご請求ください。

●大切な撮影を行う前には試し撮りを

大切な撮影（結婚式や海外旅行）を行う前には、必ず試し撮りをしてカメラが正常に機能するかを事前に確認してください。本製品の故障に起因する付随的損害（撮影に要した諸費用および利益喪失等に関する損害等）についての補償はご容赦願います。

●著作権についてのご注意

あなたがデジタルカメラで撮影したものは、個人として楽しむなどの他は、著作権上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興業、展示物の中には、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。また、著作権の目的となっている画像は、著作権法の規定による範囲内で使用する以外は、ご利用いただけませんのでご注意ください。

● Design rule for Camera File systems（DCF）について

COOLPIX3500は、Design rule for Camera File systems（DCF）に準拠しています。DCFは、各社のデジタルカメラで記録された画像ファイルを相互に利用し合うための記録形式です。

●本製品を安心してご使用いただくために

本製品は、当社製のアクセサリー（レンズ、スピードライト、バッテリー、バッテリーチャージャー、ACアダプタなど）に適合するように作られておりますので、当社製品との組み合せでご使用ください。

- 他社製品との組み合せ使用により、事故・故障などが起こる可能性があります。その場合、当社の保証の対象外となりますのでご注意ください。

●デジタルカメラの特性について

きわめて希なケースとして、液晶モニタに異常な表示が点灯したまま、カメラが作動しなくなることがあります。原因として、外部から強力な静電気が電子回路に侵入したことが考えられます。万一このような状態になった場合は、スライドスイッチをOFFにして電池を入れ直し、スライドスイッチをOFF以外にしてカメラを作動させてみてください。その際、カメラを長時間使用していますと電池が熱くなっていることがありますので、取り扱いには十分にご注意ください。ACアダプタをご使用時は、いったんカメラから取りはずして再度カメラに取り付け、スライドスイッチをOFF以外にしてカメラを作動させてみてください。また、この操作を行うことでカメラが作動しなくなった状態の時のデータは、失われるおそれがありますが、すでにコンパクトフラッシュカードに記録されているデータは失われることはありません。この操作を行ってもカメラに不具合が続く場合は、当社サービス部門にお問い合わせください。

目次

ご使用になる前に

この章は次の３部で構成されています。

はじめに（ 2～3）
この使用説明書の構成と使用しているマークについて記載しています。

各部の名称（ 4～8）
COOLPIX3500の各部の名称について記載しています。

メニューガイド（ 9～14）
液晶モニタに表示されるメニューでカメラの設定内容を変更することができます。ここでは、撮影、再生時およびシーンモードのメニュー一覧を記載しています。

はじめに

このたびはニコンデジタルカメラCOOLPIX3500をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。この使用説明書はデジタルカメラCOOLPIX3500で撮影をお楽しみいただくために必要な情報を記載しています。ご使用の前に、この使用説明書をよくお読みの上、内容を十分に理解してから正しくお使いください。

この使用説明書は、操作をしながら自然にCOOLPIX3500の使い方をご理解いただくことを目的として、基本操作から応用操作へと順を追って下記のように構成されています。

「ご使用になる前に」では、この使用説明書で使用しているマーク、カメラ各部の名称と機能、メニューガイドなどを説明しています。

「基本操作」では、COOLPIX3500の基本的な撮影方法を紹介しています。デジタルカメラを初めてお使いになる方でも、ここを順にお読みいただければ、手軽に撮影をお楽しみいただけます。

「いろいろな撮影機能」では、各撮影機能の使用方法や、応用撮影が可能になるM📷（マニュアル撮影）モードについても紹介しています。

「セットアップメニュー」では、カメラのさまざまな機能を設定する方法について、**「画像の再生」**では、再生時の操作や再生メニューなどについて説明しています。

「付録」では、カメラのお手入れ方法や別売アクセサリー、トラブル発生時の対処法などについて説明しています。

本文中のマークについて

この使用説明書は、次のマークを使用しています。必要な情報を探すときにご活用ください。

カメラの故障を防ぐために、使用前に注意していただきたいことや守っていただきたいことを記載しています。	カメラを使用する場合に、便利な情報を記載しています。
カメラを使用する前に知っておいていただきたいことを記載しています。	関連情報を記載した参照ページを記載しています。

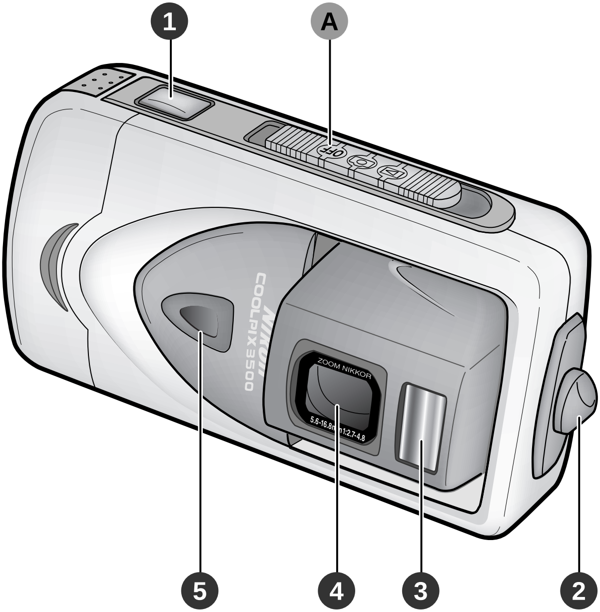
カスタマーサポート

下記アドレスのホームページで、サポート情報をご案内しています。

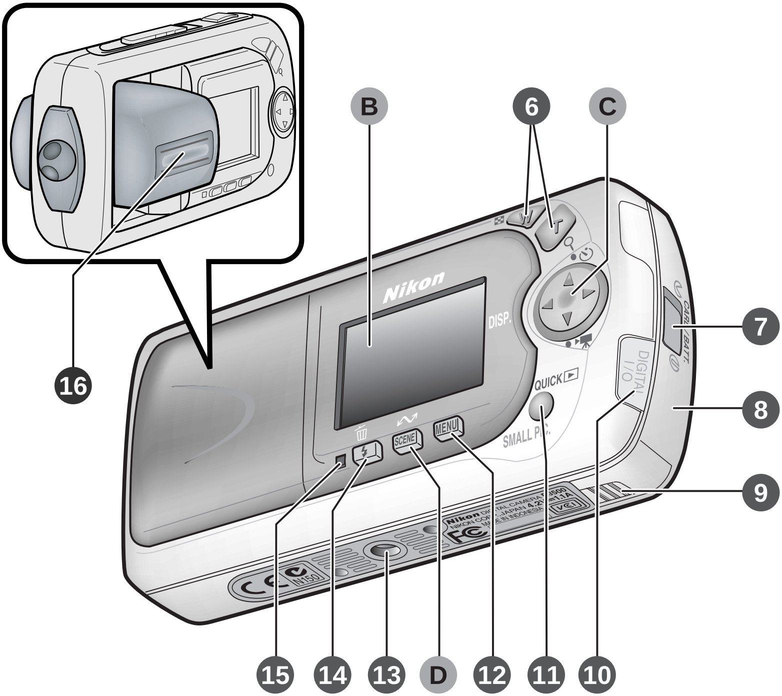
http://www.nikon-image.com/jpn/ei_cs/index.htm

各部の名称

カメラ本体の名称について紹介します。詳しい説明は各部名称の右側に記載しているページをご参照ください。



1 シャッターボタン .... 29、30
2 ストラップ取り付け部................. 16
3 スピードライト 43
4 レンズ............... 23、27、88、98
5 セルフタイマーランプ................. 47
6 ズームボタン（▦/🔍）
 .... 28、48、72、73
7 カバーロック解除ノブ................. 17
8 バッテリー / コンパクトフラッシュカードカバー 17
9 AC アダプタ接続用パワーコネクタカバー .... 19、91
10 USB 端子（カバー下）
11 QUICK ▶（クイックレビュー）/ SMALL PIC. ボタン .... 32、74
12 MENU（メニュー）ボタン
 .... 51、62、77

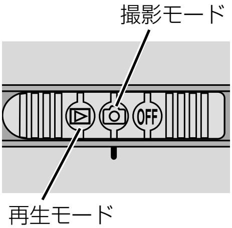


13	三脚ネジ穴
14	ϟ(スピードライトモード)/ 🗑(削除)ボタン .... 34、35、44、70、72
15	スピードライトランプ................. 29
16	すべり止めパッド

A	スライドスイッチ 6
B	液晶モニタ 6
C	マルチセレクター(セルフタイマー/動画)........... 8
D	SCENE(シーンモード)/ (転送)ボタン 8

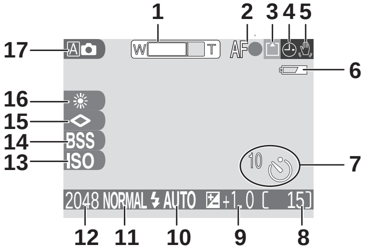
Ⓐスライドスイッチ

スライドスイッチを撮影モード（📷）にセットすると、カメラの電源がオンになり、静止画や動画を撮影できます（42）。再生モード（▶）にセットすると、撮影した画像を再生できます（70）。スライドスイッチをOFFにセットすると、電源がオフになります。



Ⓑ液晶モニタ

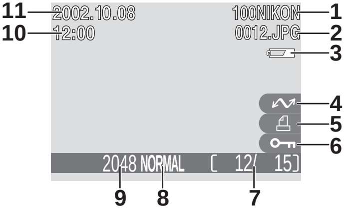
撮影時、液晶モニタには撮影する画像、およびカメラの設定内容が表示されます。表示されるカメラの設定内容は次の通りです。



1	ズーム表示	48
2	AF 表示[1]	29
3	画像記録中表示	31
4	時計マーク[2]	20
5	手ブレ警告[3]	45
6	バッテリーチェック[4]	24
7	セルフタイマー / カウントダウン表示	47
8	カウンタ（撮影可能コマ数）	24
9	露出補正マーク / 露出補正値	55
10	スピードライトモード	44
11	画質モード	54
12	画像サイズ	54
13	感度表示[5]	45
14	BSS/ 連写モード	59/58
15	輪郭強調表示	60
16	ホワイトバランス	57
17	撮影モード / シーンモード	25/36

1) 半押し時のみ表示されます。
2) 日時が設定されていない場合に点滅表示します。
3) シャッタースピードが遅い場合に表示されます。
4) バッテリー残量が少なくなった場合に表示されます。
5) カメラが自動的に感度を上げているときに表示されます。

再生時、液晶モニタには撮影した画像および画像情報が表示されます。表示される画像情報は次の通りです。

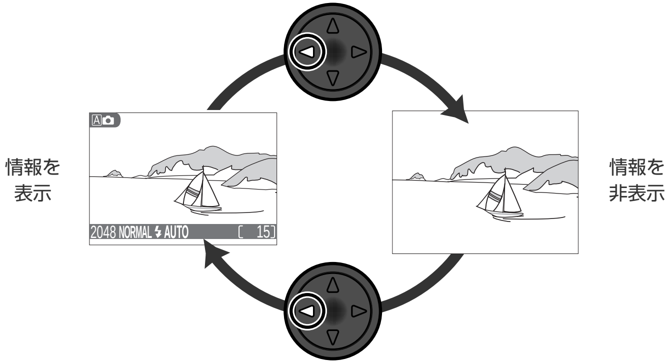


1	フォルダ名	71
2	ファイル名	71
3	バッテリーチェック*	24
4	転送マーク	34、35、71
5	プリント表示	81
6	プロテクト表示	83
7	表示画像番号 / 総画像コマ数	
8	画質モード	54
9	画像サイズ	54
10	撮影時刻	21
11	撮影日付	21

* バッテリー残量が少なくなった場合に表示されます。

カメラの設定内容や画像情報の表示について

液晶モニタに表示されているカメラの設定内容や画像情報の表示を消すには、マルチセレクターの◀を押します。もう一度押すと再表示されます。

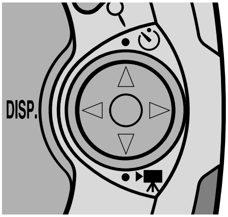


C マルチセレクター

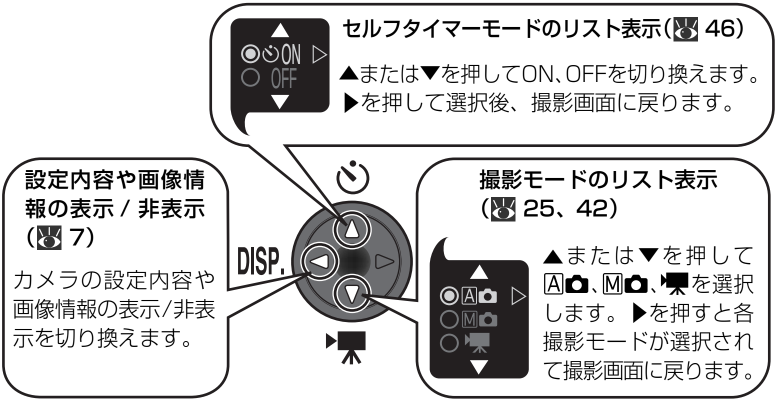
撮影時にはカメラの設定情報の表示/非表示の切り換え、撮影モードやセルフタイマーのオン/ オフの切り換えに使用します。

再生時には画像情報の表示/非表示の切り換え、表示画像の切り換えや選択（70）に使用します。

また、撮影および再生時でのメニュー画面上の操作に使用します。



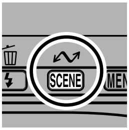
撮影時の操作



D SCENE（シーンモード）/（転送）ボタン

撮影時にはシーンモードの選択に使用します（36）。

簡易再生モード時（33）および再生モード時（70）にはパソコンに転送する画像の選択に使用します。



Nikon Viewがインストールされたパソコンに接続時は、パソコンへ画像を転送します（85）。Mac OS X（バージョン10.1.3以降）で ボタンを使用して画像を転送する場合は、転送前にセットアップメニューの「USB」（66）を「**PTP**」に設定してください。Mac OS Xのバージョン10.1.2では、ボタンによる画像の転送はできません。Nikon Viewの ボタンを使用してください。

メニューガイド

MENUボタンを押すと液晶モニタにメニュー画面が表示され、カメラの設定内容を変更できます。メニュー内容は選択している操作モードによって異なります。

メニュー		内容	モード	👁
📷	撮影メニュー	撮影可能コマ数に影響する画質モードや画像サイズを選択したり、被写体の明るさに合わせて露出補正の調整を行います。	A📷 SCENE	10, 51～55
		画質モードや画像サイズはもちろん、ホワイトバランスや連写など、撮影に関する各種機能の設定を行います。	M📷	11, 51～60
	セットアップメニュー	コンパクトフラッシュカードのフォーマット、日時設定などカメラの基本的な設定を行います。	A📷 M📷 SCENE	12, 62～68
▶	再生メニュー	撮影した画像を削除したり、プリントする画像やパソコンに転送する画像の選択などの設定を行います。	▶	13, 63～64, 77～85

- 🎥（動画）モード時はメニューを使用することはできません（👁 42、94）。

メニューの一覧



撮影メニュー

A📷・SCENE

撮影モードがA📷(オート撮影)モードまたはシーンモードにセットされている場合に使用できます。
撮影に関する３つの基本的なメニュー項目があります。

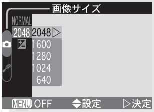


画質モード

画像をコンパクトフラッシュカードに記録するときの圧縮の比率を、３種類の中から選択します。

53

FINE
NORMAL ▷
BASIC

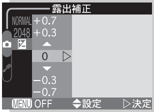


画像サイズ

画像をコンパクトフラッシュカードに記録するときのサイズを５種類の中から選択します。

54

2048 ▷
1600
1280
1024
640



露出補正

明るい被写体、暗い被写体、コントラストの強い被写体などに対して露出を補正します。

55

−2.0〜+2.0



撮影メニュー

撮影モードがM📷(マニュアル撮影)モードの場合に使用できます。A📷モードまたはシーンモードメニューと共通の3つのメニュー項目を含む、撮影に関する７つのメニュー項目があります。



画質モード

画像をコンパクトフラッシュカードに記録するときの圧縮の比率を、３種類の中から選択します。

53

FINE
NORMAL ▷
BASIC



画像サイズ

画像をコンパクトフラッシュカードに記録するときのサイズを5種類の中から選択します。

54

2048 ▷
1600
1280
1024
640



ホワイトバランス

撮影状況に合わせて、ホワイトバランスを選択します。

56～57

A オート ▷
曇天
プリセット
スピードライト
太陽光
電球
蛍光灯



露出補正

明るい被写体、暗い被写体、コントラストの強い被写体などに対して露出を補正します。

55

−2.0～+2.0



連写

撮影方式を単写、連写、マルチ連写から選択します。

58

S 単写 ▷
連写
マルチ連写



BSS

BSS（ベストショットセレクタ：手ブレの影響が最も少ない画像を選択して記録する機能）を設定します。

59

ON
OFF ▷

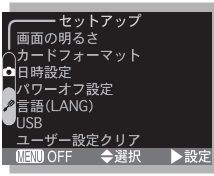


輪郭強調

撮影した画像の輪郭を強調する度合いを設定します。

60

AUTO ▷
強
標準
弱
OFF



セットアップメニュー A📷・M📷・SCENE

スライドスイッチが 📷 にセットされている場合に使用できます(動画モードを除く)。カメラの基本的な設定に関する6つのメニュー項目およびM📷モード時にのみ使用できる「ユーザー設定クリア」というメニュー項目があります。

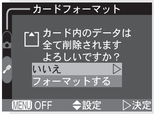


画面の明るさ

液晶モニタの明るさを調整します。

63





カードフォーマット(初期化)

コンパクトフラッシュカードをフォーマットします。

64

いいえ ▷
フォーマットする

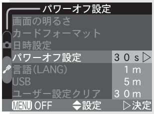


日時設定

カメラに内蔵された時計の日時を設定します。

21・65

年月日、時間、日付表示順を設定



パワーオフ設定

バッテリー節約のため、液晶モニタが自動的に消灯するまでの時間を選択します。

65

30s ▷
1m
5m
30m

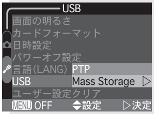


言語(LANG)

カメラで表示する言語を選択します。

66

De(ドイツ語)
En(英語)
Fr (フランス語)
日 (日本語) ▷
Es(スペイン語)

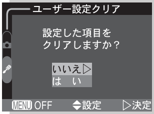


USB

パソコンと接続するときの通信方法を選択します。

66

PTP
Mass Storage ▷



ユーザー設定クリア(M📷モード時のみ)

カメラにセットされた各種の設定を初期状態にリセットします。

68

いいえ ▷
はい



再生メニュー

スライドスイッチが ▶ にセットされている場合に使用できます。再生メニューには、6つのメニュー項目があります。

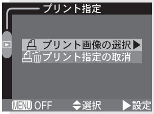


削除

全画像、または選択した画像を削除します。

78～79

選択画像削除 ▶
全画像削除

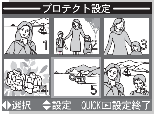


プリント指定

DPOF 対応プリンタでプリントする画像を選択し、プリント枚数やプリント時に書き込む撮影情報・日付を設定します。また、プリント指定を解除します。

80～82

プリント画像の選択 ▶
プリント指定の取消



プロテクト設定

不用意に画像を削除しないように画像にプロテクト（保護）をかけます。

83

保護する画像を指定

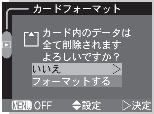


転送マーキング設定

撮影した全画像をパソコンに転送する、または転送しないように設定します。

84

全ON ▷
全OFF



カードフォーマット（初期化）

コンパクトフラッシュカードをフォーマットします。

64

いいえ ▷
フォーマットする



画面の明るさ

液晶モニタの明るさを調整します。

63



シーンモードメニュー

COOLPIX3500には12種類のシーンモードが用意されています。撮影状況や撮りたい被写体に合わせてシーンモードを選択するだけで、複雑な設定をしなくても思いどおりの撮影が簡単に楽しめます。

シーンモード一覧

シーンモード	撮影状況	参照ページ
ポートレート	背景をぼかし、人物を強調させたポートレート写真を撮影したいとき。	37
パーティー	パーティーなどで、キャンドルライトをきれいに活かした撮影をしたいとき。	37
夜景ポートレート	夕景や夜景をバックに人物を撮影したいとき。	38
海・雪	晴天の海や湖、砂浜や雪景色を撮影したいとき。	38
風景	木々の緑や青空などを強調した風景写真を撮影したいとき。	38
夕焼け	美しい赤い夕焼け（朝焼け）を撮影したいとき。	38
夜景	きれいな夜景写真を撮影したいとき。	39
ミュージアム	スピードライトを発光させたくない場所で撮影したいとき。	39
打ち上げ花火	大きく広がる打ち上げ花火をきれいに撮影したいとき。	39
クローズアップ	草花や昆虫、小さな被写体などを色鮮やかに撮影したいとき。	40
モノクロコピー	ホワイトボードや印刷物の文字、線画をシャープに複写したいとき。	40
逆光	逆光で人物が影になってしまうときに人物が影にならないように撮影したいとき。	40

基本操作

この章は次の４部で構成されています。

撮影前の準備（16～22）
撮影前の準備をステップごとに説明します。

撮影する（23～31）
基本的な撮影方法をステップごとに説明します。

撮影した画像を確認する（32～35）
撮影中、スライドスイッチを▶（再生）モードに切り換えることなく簡単に画像を再生したり削除する方法を説明します。

シーンモードで撮影する（36～40）
シーンモードで撮影する方法を紹介します。

撮影前の準備

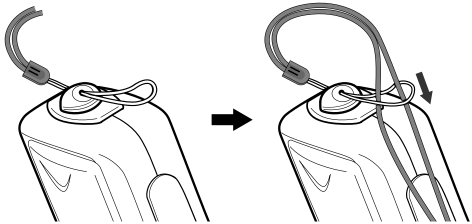
撮影前の準備を行います。各ステップの詳細については、それぞれの参照ページをご覧ください。

ステップ1	ストラップを取り付けます	16
ステップ2	バッテリーとコンパクトフラッシュカードを入れます	16～20
ステップ3	日付と時刻を設定します	21～22

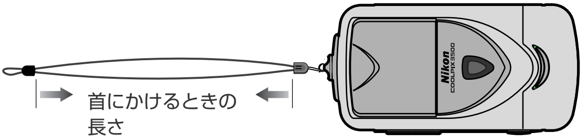
ステップ1：ストラップを取り付けます

カメラにストラップを取り付けます。

図のようにストラップを通します。



留め具で長さを調節します。



ステップ2:バッテリーとコンパクトフラッシュカードを入れます

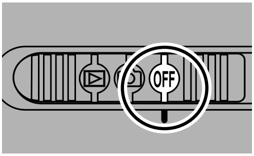
このカメラは付属の専用Li-ionリチャージャブルバッテリー(リチウムイオン充電池)EN-EL2を使用します。

2.1 リチャージャブルバッテリーを充電します。

- 付属バッテリーEN-EL2はフル充電されていません。はじめてご使用になるときやバッテリーの残量が少なくなったときは、付属のチャージャーでバッテリーをフル充電してからご使用ください。充電方法は付属のチャージャーの使用説明書をご覧ください。

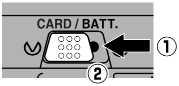
2.2 カメラのスライドスイッチをOFFにセットします。

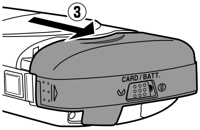
- バッテリーやコンパクトフラッシュカードを挿入する前に、必ずスライドスイッチがOFFにセットされていることを確認してください。

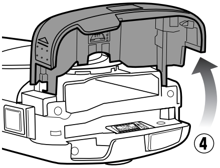


2.3 バッテリー/コンパクトフラッシュカードカバーを開けます。

- カバーロック解除ノブをⓋの方向にスライドさせます（①）。②の部分に赤いマークが表示されていることを確認してください。赤いマークが見えているときは、バッテリー/コンパクトフラッシュカードカバーのロックが解除されています。
- バッテリー/コンパクトフラッシュカードカバーを右の図のように引き出し（③）、持ち上げながら開きます（④）。

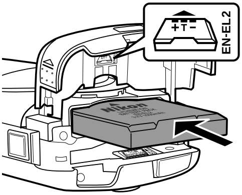






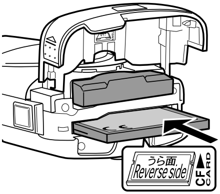
2.4 バッテリーを入れます。

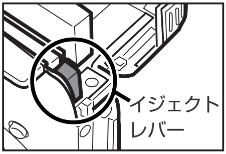
- リチャージャブルバッテリーEN-EL2を右の図のようにカメラの中に入れます。
- カバー裏面にある図に合わせて、+と−の方向を正しく入れてください。



2.5 コンパクトフラッシュカードを入れます。

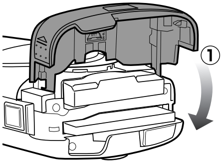
- コンパクトフラッシュカードを図のように差し込みます。
- コンパクトフラッシュカードの向きに注意して挿入してください。
- コンパクトフラッシュカードを押し込むと、カチッと音がしてイジェクトレバーが少し手前に出てきます（イジェクトレバーの先端とコンパクトフラッシュカードの先端が揃うと、コンパクトフラッシュカードが正しく装着されたことになります）。

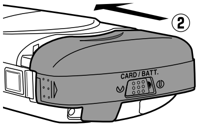


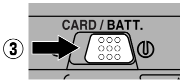


2.6 バッテリー/コンパクトフラッシュカードカバーを閉じます。

- バッテリー/コンパクトフラッシュカードカバーを閉じて押し込み（①、②）、カバーロック解除ノブを⏻の方向にスライドさせます（③）。
- 赤いマークが見えていないことを確認してください。
- カメラの操作中などにバッテリーが外れないように、カバーがしっかりと閉じていることを確認してください。







コンパクトフラッシュカードのフォーマット

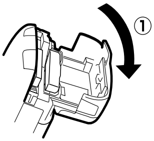
付属のコンパクトフラッシュカードはCOOLPIX3500用にフォーマット済みです。その他のコンパクトフラッシュカードを初めてCOOLPIX3500で使用する場合は、あらかじめコンパクトフラッシュカードをフォーマットする必要があります。詳しい手順については、「カードフォーマット」（64）をご覧ください。

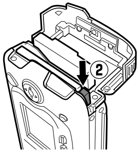
バッテリー/コンパクトフラッシュカードカバーの取り扱いについて

バッテリー/コンパクトフラッシュカードカバーに無理な力を加えないでください。破損のおそれがあります。

コンパクトフラッシュカードを取り出すときは

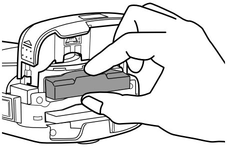
- コンパクトフラッシュカードを取り出すときは、カメラのスライドスイッチがOFFにセットされていることを必ず確認してください。
- バッテリー/コンパクトフラッシュカードカバーを開け（①）、イジェクトレバーを押し込みます（②）。イジェクトレバーを押し込むとカードを取り出せるよう、カードが少し飛び出します。
- カメラの使用直後にはコンパクトフラッシュカードが熱くなっていることがありますので、取り出す場合はご注意ください。





バッテリーを取り出すときは

バッテリーを取り出すときは、指の腹を使って引き出してください。爪で引っかけて取り出さないでください。



使用できるその他の電源について

再生時やパソコンとの接続時などカメラを長時間ご使用になる場合は別売のACアダプタキットEH-60（91）のご使用をおすすめします。ACアダプタキットを使用すると、家庭用電源（AC100V）からCOOLPIX3500へ電源を供給することができます。市販の電池は使用できません。

バッテリーについてのご注意

専用リチャージャブルバッテリーEN-EL2の取り扱いについては、バッテリーの使用説明書をご参照ください。また、バッテリーを入れる際は「安全上のご注意」の「警告」、「危険」（ ii～v）や「バッテリーの取り扱いについて」（ 90）の注意事項を必ずお守りください。

時計用の電池について

COOLPIX3500の時計（日付・時刻）用の電池は、カメラに付属の専用リチャージャブルバッテリーEN-EL2 とは別に、カメラに内蔵されています。カメラにバッテリーを入れるか、別売の専用ACアダプタを使用して家庭用電源に接続すると、時計用の電池は約10時間で充電されます。充電が完了すると、カメラのバッテリーを取り出しても、記憶された日時は数日間保持されます。長時間カメラにバッテリーが入っていない場合は、記憶された日時データは失われますので、再度日時を設定してください。

- 充電が不十分な場合、一度セットした日時データが失われることがあります。
- 日時データが失われた場合は、液晶モニタに時計マーク（◷）が点滅します。

撮影された画像について

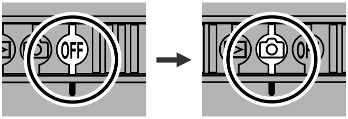
バッテリーを取り外しても、コンパクトフラッシュカードに記録した画像には影響はありません。

ステップ３：日付と時刻を設定します

COOLPIX3500には時計が内蔵されており、撮影した画像と動画には撮影日時が記録されます。

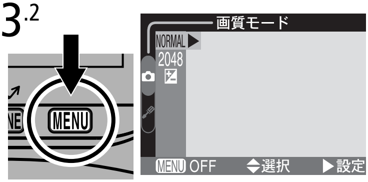
ご購入時には時計の日付と時刻は設定されていませんので、以下の手順にしたがって日時を設定してください。

3.1



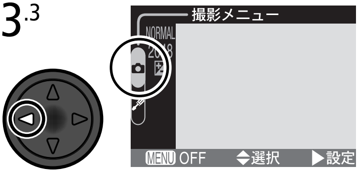
スライドスイッチを［カメラ］にセットします。

3.2



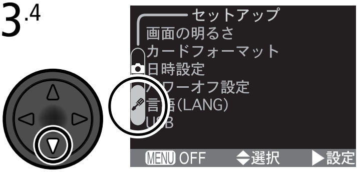
MENUボタンを押します。撮影メニュー画面が表示されます。

3.3



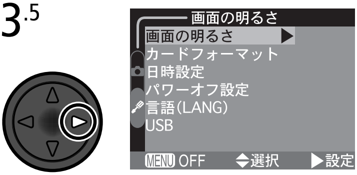
マルチセレクターの◀を押します。画面左の［カメラ］タブが選択されて、緑で表示されます。

3.4



▼を押します。［セットアップ］タブが選択されて、緑で表示されます。

3.5



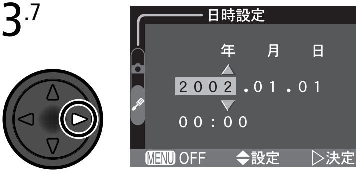
▶を押します。セットアップメニュー画面が青く表示されます。

3.6



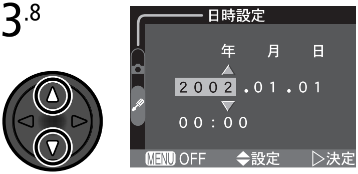
▲または▼で「日時設定」を選択します。

3.7



▶を押します。「日時設定」の画面に切り換わります。

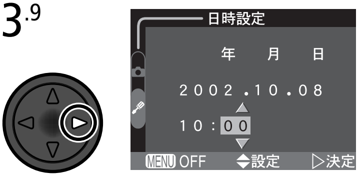
3.8



「年」が緑で表示され点滅します。▲または▼で年を合わせます。

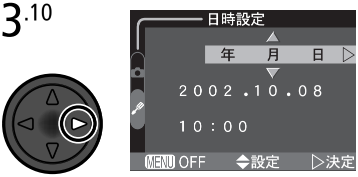
- 数値は▲を押すごとに大きくなり、▼を押すごとに小さくなります。

3.9



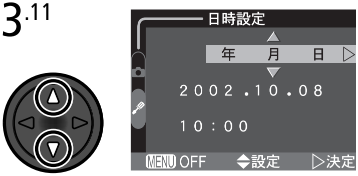
▶を押して、「月」の設定に移ります。3.8、3.9の手順を繰り返して、月、日、時、分を順番に選択し、現在の日付・時刻に合わせます。

3.10



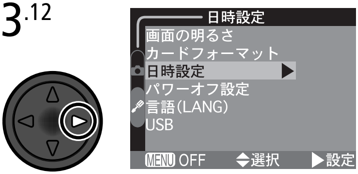
▶を押します。「年月日」の位置が緑で表示されて、文字が点滅します。

3.11



▲または▼で「年月日」「月日年」「日月年」の中から、日付の表示順を選択します。

3.12



▶を押します。表示順が決定して、日付と時刻が設定され、画面はセットアップメニューに戻ります。撮影画面に戻るには、MENUボタンを押します。

時計マークについて

日付と時刻が設定されていない場合は、撮影時に液晶モニタの右上に時計マーク(◷)が点滅し（ 6)、撮影した画像の撮影日時情報には「0000.00.00　00:00」と記録されます。

撮影する

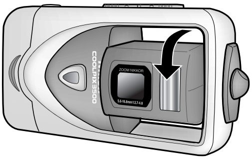
ここでは撮影モードを A📷(オート撮影)モードにセットして行う簡単な撮影方法について説明します。A📷モードにセットすると、撮影状況に合わせて各機能が最適な状態に自動的にセットされるので、初めてデジタルカメラをご使用になる方でも簡単に撮影できます。

ステップ1	撮影を始める前に	23～24
ステップ2	A📷モードを選択します	25
ステップ3	カメラの機能の初期設定を確認します	26
ステップ4	構図を決めます	27～28
ステップ5	ピントを合わせて撮影します	29～30
ステップ6	撮影を終了します	31

ステップ 1：撮影を始める前に

撮影を始める前に、次の手順を行ってください。

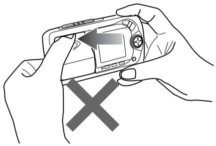
1.1 カメラのレンズを撮影位置にセットします。



- COOLPIX3500 のレンズ部を回転させてレンズをカメラボディのフレームから出してください。
- スライドスイッチを OFF から📷にセットするときにレンズがカメラボディのフレームに隠れていると、レンズを撮影可能な位置に回転するように注意をうながす警告画面が液晶モニタに表示されます。この警告画面はレンズ部を撮影可能な角度に回転させると消えます。

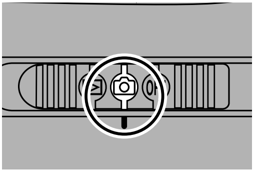
✔ レンズ部の回転について

- レンズ部を回転させる場合、ボディのフレームに指などをはさみこまないように注意してください。
- レンズ部の回転は、回転範囲内でゆっくりと行ってください。



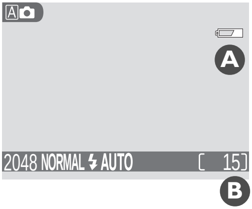
1.2 スライドスイッチを📷にセットします。

- スライドスイッチをOFFから📷にセットすると、カメラの電源がオンになります。



1.3 液晶モニタの表示を確認します。

- 撮影を始める前に、バッテリーチェック表示（A）とカウンタ（撮影可能コマ数）（B）を確認します。



バッテリーチェック表示（A）

表示	意味	カメラの状態
表示なし	バッテリーは十分に充電されています。	通常
（電池アイコン）（点灯）	バッテリーの残量が少なくなりました。充電することをおすすめします。	通常（連写可能コマ数等に制限があります）
電池残量がありません。	バッテリーの残量がなくなりました。充電済みのバッテリーと交換してください。	撮影できません

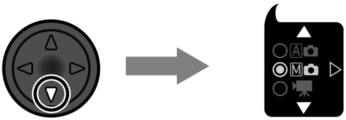
カウンタ（撮影可能コマ数）（B）

撮影可能コマ数は液晶モニタの下の部分に表示されます（B）。撮影可能コマ数は、装着しているコンパクトフラッシュカードのメモリー残量によって異なります。コンパクトフラッシュカードに撮影できるメモリー残量がない場合には、「メモリー残量がありません」という警告メッセージが表示され、撮影を行うことができません。新しいコンパクトフラッシュカードに交換するか、コンパクトフラッシュカードに記録されている画像を削除してください（👁 78）。ただし、画質モードや画像サイズを変更することによって、撮影できる場合もあります（👁 53）。

ステップ２：A📷モードを選択します

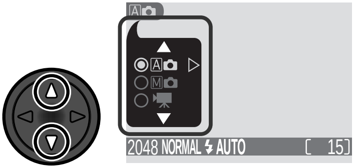
「基本操作」では、A📷モードで行う撮影について説明します。液晶モニタにA📷が表示されていない場合には、次の手順にしたがって、A📷モードを選択してください。

2.1



マルチセレクターの▼を押して、撮影モードのリストを表示します。

2.2



▲または▼を押して、A📷を選択します。

- ▶でA📷モードが選択され、液晶モニタの左上にA📷アイコンが表示されます（マルチセレクターの▶を押さないまま２秒以上経過した場合は、撮影モードが変更されないまま撮影画面に戻ります）。

ステップ３：カメラの機能の初期設定を確認します

Ⓐ モードでは、下表の項目を変更できます。カメラを初めてご使用になる場合、カメラの各機能は、下表のように設定されています（この状態を「初期設定」といいます）。ここでは、カメラの各機能を下記の初期設定にして撮影する手順について説明します。

カメラの各機能を初期設定から変更する場合は、参照ページをご覧ください。

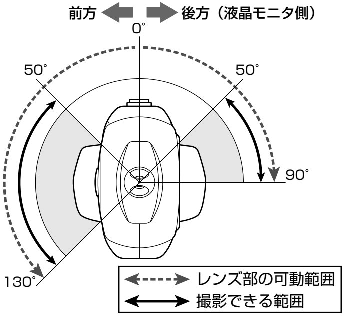
項目	初期設定	初期設定の内容	参照ページ
スピードライトモード	AUTO	被写体が暗いときに、自動的にスピードライトを発光します。	43～45
セルフタイマー	OFF	セルフタイマーは設定されていません。	46～47
画質モード	NORMAL	記念撮影など通常の撮影に適しています。	53
画像サイズ	2048	画像サイズは2048×1536ピクセルです。この使用説明書のサイズからA4サイズ程度までの大きさで画像をプリントする場合に適しています。	54
露出補正	±0	露出補正は設定されていません。適正露出値で撮影します。	55

ステップ４：構図を決めます

Ⓐ📷モードを選択し、カメラの設定を確認したら、撮影する画像の構図を決めます。

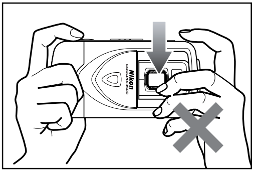
4.1 レンズの角度を決めます。

- レンズ部は前方に最大130゜まで、後方（液晶モニタ側）に最大90゜まで回転します。レンズ部を回転させることでさまざまな角度で撮影することができ、レンズを撮影者側に向けるとセルフポートレート撮影も可能です。
- レンズ部がカメラボディのフレームに隠れると、「この位置では撮影できません　レンズの向きを確認して下さい」という警告メッセージが液晶モニタに表示されます。レンズ部を撮影可能な角度に回転させてから撮影してください。

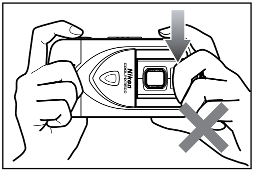


カメラを構えるときのご注意

- **カメラ前面のレンズやスピードライト発光部などに指や髪、ストラップ、ACアダプタのコードがかかったり、写り込んだりしないように注意してください。また、短時間に何回もスピードライトを発光すると、スピードライト発光部が熱くなることがありますのでご注意ください。**

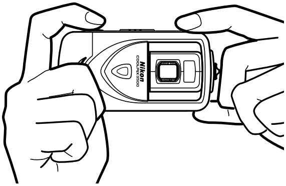


レンズに指がかかっています。撮影する画像に影が写ったり、レンズに指紋などの汚れが付いて、撮影する画像に汚れが写り込むことがあります。



スピードライトに指がかかっています。撮影する画像に影が写ったり、画像全体が暗くなったりするおそれがあります。

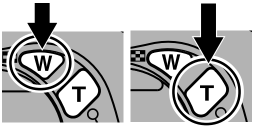
4.2 カメラを構えます。



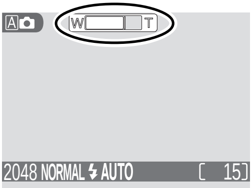
- 手ブレを防ぐため、カメラは図のように両手でしっかりと持ってください。

4.3 構図を決めます。

写したいものにレンズを向け、液晶モニタを見ながら構図を決めます。



広角側　望遠側



上の表示はズームの量を表します。このズーム表示は、(W)または(T)を押し続けると変化します。

- COOLPIX3500は、3倍のズームレンズを装備しています。ズームボタン（(W)•(T)）を押すことにより、撮影する範囲を変更することができます。
- (W)ボタンを押すと、液晶モニタに写る範囲が徐々に広くなります（「広角側にズーミングする」といいます）。
- (T)ボタンを押すと、液晶モニタには被写体が徐々に大きく映ります（「望遠側にズーミングする」といいます）。
- 最も望遠側で約2秒以上(T)ボタンを押し続けると、自動的に電子ズームが作動し、さらに4倍まで被写体を大きく映すことができます。電子ズームの作動中はズーム表示の色が黄色に変化します（49）。

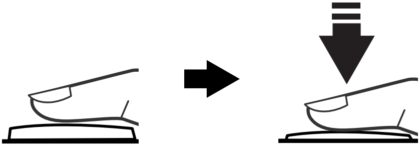
対面時の撮影について

レンズを液晶モニタ側に向けて対面撮影を行う場合は、液晶モニタには鏡に映ったような状態（鏡像）で被写体が表示されますが、撮影画像はレンズの向こう側から見た状態（正像）で記録されます。

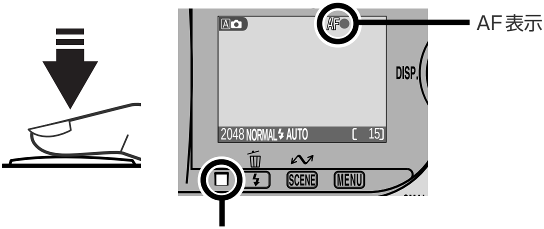
ステップ5：ピントを合わせて撮影します

5.1 シャッターボタンを半押しして、ピントが合っていることを確認します。

- シャッターボタンを軽く押して、途中で止める動作を「シャッターボタンを半押しする」といいます。シャッターボタンを半押しすると、ピントと露出が決まり、半押し中はピントと露出が固定されます。

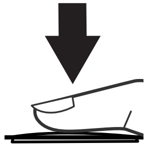


- シャッターボタンの半押しで、AF表示およびスピードライトランプの状態を確認できます。

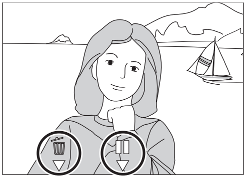


状態		意味
AF表示	緑色点灯	被写体にピントが合っています。
	赤色点滅	被写体にピントを合わせることができません。構図を変えて再度ピントを合わせてください。
スピードライトランプ	点灯	被写体が暗いため、スピードライトを発光します。
	点滅	スピードライトが充電中です。シャッターボタンから指を離して、もう一度押し直してください。
	消灯	被写体が明るいため、スピードライトは発光しません。

5.2 ゆっくりとシャッターボタンを押し込み、撮影します。



- シャッターボタンを最後まで押し込むと撮影できます。
- 撮影後画像がコンパクトフラッシュカードへ記録されるまでの数秒間、液晶モニタには、撮影画像と🗑▽(クイックデリートマーク)と▯▯▽(静止画延長マーク)が表示されます(👁 50)。



オートフォーカスが苦手な被写体について

COOLPIX3500のオートフォーカス機能は、ほとんどの被写体についてピント合わせが可能ですが、次のような場合は、オートフォーカスでは適切なピント合わせができないことがあります。

- 被写体が非常に暗い場合
- 画面内の輝度差が非常に大きい場合(太陽が背景に入った日陰の人物など)
- 被写体にコントラストがない場合(白壁や背景と同色の服を着ている人物など)
- 遠いものと近いものが混在する被写体(オリの中の動物など)を撮影する場合
- 動きの速い被写体を撮影する場合

手ブレについてのご注意

シャッターボタンを一気に押すと手ブレの原因になります。シャッターボタンはゆっくりと押し込んでください。

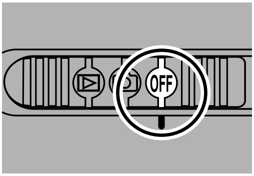
ピント合わせについて

COOLPIX3500はカメラからいちばん近い被写体にピントを合わせます。構図を決めるときは、写したい被写体がいちばん手前に配置されるようにしてください。

ステップ6：撮影を終了します

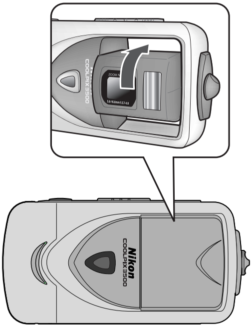
撮影を終了するときは、カメラを保管する前に次の手順を行ってください。

6.1 カメラの電源をOFFにセットします。



- 撮影を終了する場合は、スライドスイッチをOFFにセットします。
- スライドスイッチがOFF以外にセットされているとバッテリーが消耗します。カメラを保管する前に、必ずスライドスイッチがOFFにセットされていることを確認してください。

6.2 レンズ部を収納します。



- レンズを保護するために、レンズ部をカメラボディのフレームの内側に収納してください。

画像記録中の撮影

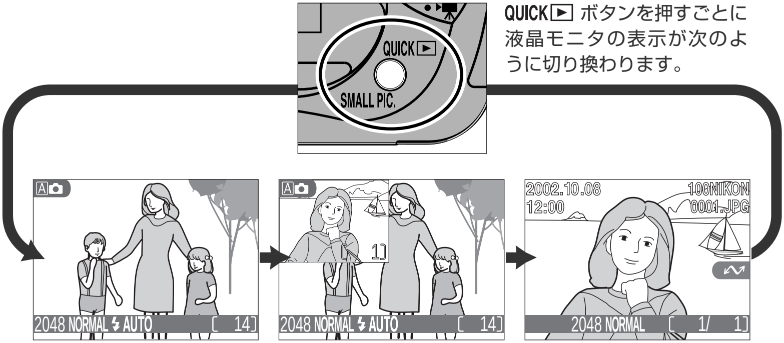
- 液晶モニタに⌛マークが表示されるまでは撮影を続けることができます。
- ⌛マークまたは[▲](画像記録中表示)が表示されている場合は、画像をコンパクトフラッシュカードに記録していますので、コンパクトフラッシュカードを取り出したり、バッテリーを抜いたりしないでください。書き込み中の画像が記録されなかったり、撮影した画像がこわれたりする場合があります。

暗い場所で撮影するときの液晶モニタ画面について

暗い場所で撮影する場合、液晶モニタを見やすくするために通常の撮影時の画面にくらべてざらついた画面になることがあります。

撮影した画像を確認する

デジタルカメラは、撮影後すぐに画像を確認できるので、撮り直したいと思ったときにいつでも次の撮影を行うことができます。撮影後すぐに画像を確認するときは、「レビュー再生モード」、「簡易再生モード」を使用します。このモードでは、スライドスイッチを▶に切り換えることなく撮影した画像を確認できます。撮影後、スライドスイッチを📷にセットしたままで、QUICK▶ボタンを押します。



QUICK▶ ボタンを押すごとに液晶モニタの表示が次のように切り換わります。

撮影モード

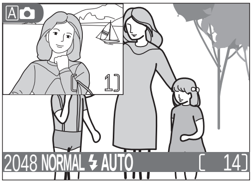
レビュー再生モード
液晶モニタの左上に最後に撮影した画像が縮小表示されます。

簡易再生モード
レビュー再生モードでさらにQUICK▶ ボタンを押すと、最後に撮影した画像が液晶モニタ全体に表示されます。

- 表示する画像の切り換えは、マルチセレクターの▲（一つ前に撮影した画像を表示）または▼（一つ後に撮影した画像を表示）で行います。
- レビュー再生モード、簡易再生モード時にシャッターボタンを半押しすると撮影モードに戻り、いつでも撮影できます。

レビュー再生モード

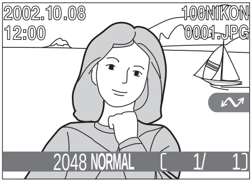
レビュー再生モード時は次の操作が可能です。



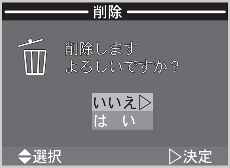
目的	ボタン	カメラの動作
別の画像を見る		マルチセレクターの▲を押すと、現在液晶モニタに表示されている画像の1つ前に撮影した画像を見ることができます。 ▼を押すと、現在表示されている画像の次に撮影した画像を見ることができます。
簡易再生モードにする	QUICK ▶	画像を全画面に表示します。
撮影する	シャッターボタン	シャッターボタンを半押しすると撮影モードに戻ります。

簡易再生モード

簡易再生モード時は次の操作が可能です。



目的	ボタン	カメラの動作
別の画像を見る		マルチセレクターの▲を押すと、現在液晶モニタに表示されている画像の1つ前に撮影した画像を見ることができます。 ▼を押すと、現在表示されている画像の次に撮影した画像を見ることができます。
サムネイル画像を見る	(W)	(W)ボタンを押すと4コマの縮小した画像が表示される「サムネイルレビューモード」になります（35）。

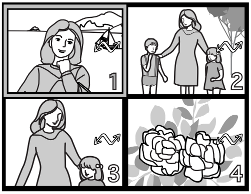
目的	ボタン	カメラの動作
表示されている画像を削除する	🗑(⚡)	🗑(⚡) ボタンを押すと、削除確認画面が表示されます。マルチセレクターの▲/▼を押して、「いいえ」か「はい」のいずれかを選択します。▶を押すと、選択が実行されます。  • **いいえ**： 画像は削除されず簡易再生モードに戻ります。 • **はい**： 画像が削除されます。
表示されている画像を拡大する	🔍(T)	🔍(T) ボタンを押すと、画像が最大約6倍まで拡大表示されます（☞ 73）。拡大画面表示でマルチセレクターを使うと、画面が見たい部分に移動できます。W ボタンを押すと、拡大表示がキャンセルされて通常の表示に戻ります。
パソコンに転送する画像を選択する	〰(SCENE)	撮影された画像に〰マークをつけたり、消したりすることであらかじめパソコンに転送する画像を選択することができます。転送方法については付属のクイックスタートガイドをご覧ください。
画像情報を表示/非表示にする		マルチセレクターの◀を押すごとに、画像情報の表示/非表示を切り換えます（☞ 7）。
撮影モードに戻る	シャッターボタン/QUICK▶	シャッターボタン半押し、またはQUICK▶ボタンを押すと、撮影モードに戻ります。

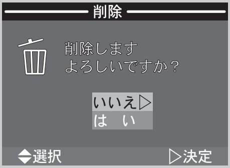
再生モード

画像を確認するには、レビュー再生モード、簡易再生モード機能の他に、スライドスイッチを ▶に切り換える方法があります（☞ 69）。
▶では、複数の画像の削除や、画像のプロテクト設定、転送マーキング設定などを行うことができます。（☞ 77）。

サムネイルレビューモード

簡易再生モード時に ⊞ ボタンを押すと、液晶モニタに4コマの縮小した画像（サムネイル画像）が表示される「サムネイルレビューモード」になります。操作は次の表の通りです。



目的	ボタン	カメラの動作
画像を選択する	マルチセレクター	マルチセレクターの▲/▼/◀/▶を押して画像を選択します。
表示コマ数を変更する	⊞（W）/🔍（T）	サムネイル画像の4コマ表示時に⊞（W）ボタンを押すと、サムネイル画像の9コマ表示になります。9コマ表示時に🔍（T）ボタンを押すと4コマ表示に、4コマ表示時に🔍（T）ボタンを押すと1コマ表示（簡易再生モード）になります。
画像を削除する	🗑（⚡）	🗑（⚡）ボタンを押すと、削除確認画面が表示されます。マルチセレクターの▲/▼を押して、「いいえ」か「はい」のいずれかを選択します。▶を押すと、選択が実行されます。  • **いいえ**：画像は削除されずサムネイルレビューモードに戻ります。 • **はい**：画像が削除されます。
パソコンに転送する画像を選択する	∿（SCENE）	撮影された画像に∿マークをつけたり、消したりすることであらかじめパソコンに転送する画像を選択することができます。転送方法については付属のクイックスタートガイドをご覧ください。
撮影画面に戻る	シャッターボタン/QUICK▶	シャッターボタン半押し、またはQUICK▶ボタンを押すと、撮影モードに戻ります。

シーンモードで撮影する

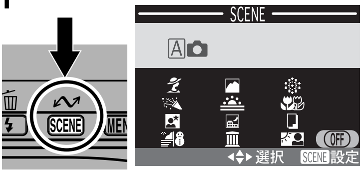
COOLPIX3500には12種類のシーンモードが用意されています。シーンモードでは、選択された「シーン」に合わせてカメラが各種設定を最適な状態にセットします。撮影状況や被写体に合ったシーンモードを選択するだけで、複雑な設定をしなくても思いどおりの撮影が簡単に楽しめます。

シーンモードはスライドスイッチを📷にセットして、撮影モードをA📷またはM📷にセットしているときのみ使用できます。

シーンモードの選び方

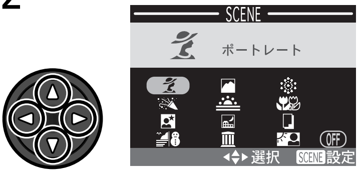
シーンモードは次の手順で選択します。

1



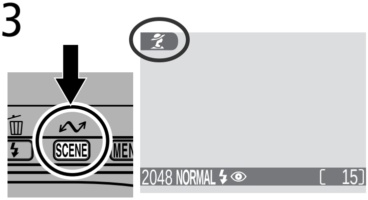
SCENEボタンを押すと、シーンモード選択画面が表示されます。

2



- マルチセレクターを使用して、シーンのアイコンを選択します。
- 選択したシーンモードのアイコンが、画面の上部に大きく表示されます。

3



- SCENEボタンを押すと、選択したシーンモードがセットされて、撮影画面に戻ります。
- 選択したシーンモードのアイコンが液晶モニタの左上に表示されます。

思いどおりの画像にならない場合は

撮影状況によっては、選択したシーンモードでは期待通りの結果にならない場合があります。このような場合は、A📷モードで再度撮影することをおすすめします。

シーンモードについて

- スピードライトモード（43）は各シーンモードでセットされる内容が異なります。また、ポートレート、パーティ、海・雪、クローズアップ、モノクロコピーではすべてのスピードライトモードを ϟ ボタンにより選択できます。
- MENUボタンを押すと、Aモードと同じ撮影メニューが表示されます（52）。
- 手ブレ度合い表示のあるシーンモードでは、被写体の明るさによってシャッタースピードが遅くなります。遅いシャッタースピードでは手ブレを警告するアイコンが液晶モニタに表示されます。この場合、手ブレ度合いに応じて、次のようにカメラを固定してください。
  ★　：脇を締めて、カメラを固定するようにしっかりと構えてください。
  ★★：三脚を使用するか、安定した台などにのせて、カメラを固定してください。
- シーンモードをキャンセルして通常のAモードやMモードに戻る場合は、「OFF」を選択してください。

ポートレート



ポートレート撮影に使用します。背景をぼかし、人物を浮き立たせて立体感のある画像に仕上げます。

- スピードライトモード：ϟ（赤目軽減自動発光）に自動的にセット。※
- 背景をぼかす度合いは、光の明るさで変化します。

パーティー



パーティー会場などで、キャンドルライトをきれいに写すなど被写体の背景を活かした雰囲気のある画像に仕上げます。

- スピードライトモード：ϟ（赤目軽減自動発光）に自動的にセット。※
- 手ブレ度合い：★

※ シーンモードセット後に、すべてのスピードライトモードに変更可能です。

ノイズ除去機能について

夜景撮影など、シャッタースピードが長時間になる撮影を行った場合、記録された画像に星状のノイズが生じることがあります。シーンモードの夜景、または夜景ポートレートで、ノイズが発生するような遅いシャッタースピードになる撮影では、自動的にノイズ除去が行われます。この場合、撮影後の画像の記録に通常より 2 倍以上の時間がかかります。

夜景ポートレート



夕景や、夜景をバックに人物を撮影したいとき、背景を黒くつぶすことなく、人物も背景も自然に表現できます。

- スピードライトモード：（赤目軽減自動発光）に自動的にセット。
- 手ブレ度合い：★

海・雪



晴天の海や湖、砂浜や雪景色を明るく鮮やかに撮影します。

- スピードライトモード：**AUTO**（自動発光）に自動的にセット。※

風景



風景写真を撮影したいときに使用します。木々の緑や青空などの輪郭やコントラストを強調して鮮やかな色の画像に仕上げます。

- スピードライトモード：（発光禁止）に自動的にセット。
- フォーカスは遠景にピントが合うようにセットされます（AF表示は表示されません）。

夕焼け



美しい赤い夕焼け（朝焼け）を見た目のままに美しく表現します。

- スピードライトモード：（発光禁止）に自動的にセット。
- 手ブレ度合い：★

※ シーンモードセット後に、すべてのスピードライトモードに変更可能です。

夜景



夜景を撮影する際、スローシャッターで夜景の雰囲気を表現した写真を撮影できます。

- スピードライトモード：(発光禁止）に自動的にセット。
- フォーカスは遠景にピントが合うようにセットされます（AF表示は表示されません)。
- 手ブレ度合い：★★

ミュージアム



スピードライトの発光が禁止されている博物館や美術館など、スピードライトを発光させたくない場所で撮影する時に使用します。

- スピードライトモード：(発光禁止）に自動的にセット。
- BSS 機能（59）が自動的にオンになります。最大 10 コマの連続撮影を自動的に行い、カメラが自動的により鮮明な画像を 1 コマ選択します。
- 博物館、美術館等によっては撮影が禁止されている場合があります。あらかじめご確認ください。
- 手ブレ度合い：★

打ち上げ花火



スローシャッターで、大きく広がる打ち上げ花火をきれいに撮影できます。

- スピードライトモード：(発光禁止）に自動的にセット。
- フォーカスは遠景にピントが合うようにセットされます（AF表示は表示されません)。
- セルフタイマー（46）は使用できません。
- 手ブレ度合い：★★

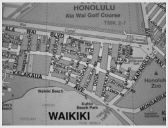
クローズアップ



クローズアップ写真を撮影したいときに使用します。草花や昆虫、小さな被写体などを色鮮やかに撮影することができます。

- スピードライトモード：**AUTO**（自動発光）に自動的にセット。※
- クローズアップモード設定直後のズーム位置（ミドルポジション）では、レンズ前4cm までの被写体にピントを合わせることができます。
- ズーム位置により最短撮影距離は変化します。
- 常に中央の被写体にピントを合わせます。
- 手ブレ度合い：★

モノクロコピー



ホワイトボードや名刺、印刷物の文字などを、シャープに複写することができます。

- スピードライトモード：（発光禁止）に自動的にセット。※
- 複写するものが赤色、青色などの場合、文字などが薄くなることがあります。

逆光



逆光状態の時に、人物が影にならず美しく撮影することができます。

- スピードライトモード：（強制発光）に自動的にセット。

OFF



Aモードまたは Mモードに戻りたいときに選択します。
OFF を選択すると、シーンモードを選択する前の撮影モードのアイコンが画面上部に表示され、SCENEボタンを押すと表示された撮影モードの画面に戻ります。

※ シーンモードセット後に、すべてのスピードライトモードに変更可能です。

いろいろな撮影機能

カメラの撮影機能の詳細

撮影メニュー

この章では撮影モード時のカメラの各撮影機能やメニューについて詳しく説明します。

カメラの撮影機能の詳細（42～50）
撮影モード、ズーム、セルフタイマーの設定など、カメラの各撮影機能について詳しく説明します。

撮影メニュー（51～60）
撮影時に使用するメニューについて説明します。

カメラの撮影機能の詳細

撮影モードについて



撮影モードの種類は次の通りです。撮影モードは、マルチセレクターの▼を使って選択します。撮影モードの選択方法については「基本操作―撮影する」（25）を参照してください。

A　オート撮影モード

いちばん手軽に撮影できる、カメラまかせのオート撮影のモードです。スナップ撮影をはじめ、シャッターチャンスを逃さずにすぐに撮影したいときなどに便利です。撮影メニューによって画質モード、画像サイズ、露出補正の設定ができます。

M　マニュアル撮影モード

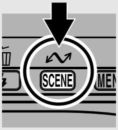
Aモードの撮影メニューに加えて、ホワイトバランスや輪郭強調、連写などの各撮影機能の設定ができます。撮影者が意図的にいろいろ工夫できる撮影モードです。

動画モード

最大35秒の動画（音声なし）を撮影できます。シャッターボタンを深く押し込むと撮影が開始され、もう一度シャッターボタンを押し込むと撮影が終了します。

- 液晶モニタには、撮影可能コマ数表示のかわりに、記録可能な時間が表示されます。
- 動画の撮影は約35秒で自動的に終了します。また、コンパクトフラッシュカードの記録容量がなくなった場合も自動的に終了します。
- 動画は画像サイズQVGA（320×240）、15フレーム/秒で撮影されます。拡張子は「.MOV」の「Quick Timeムービーファイル」として記録されます。
- 動画モードが選択されているときは、シーンモードの設定およびメニューの設定はできません。
- 動画モードが選択されているときは、スピードライトは発光しません。
- 対面撮影を行った場合は液晶モニタに表示される画像と再生される画像はいずれも上下逆となります。

SCENE　シーンモード



Aモードまたは Mモード設定時にSCENEボタンを押すとシーンモードを選択することができます。

12種類のシーンモードの中から選択された「シーン」に合わせて、カメラが各種設定を最適な状態にセットします。撮影状況や被写体に合ったモードを選択するだけで、イメージに合った写真を手軽に撮影できるモードです（36～40）。

スピードライトモードについて

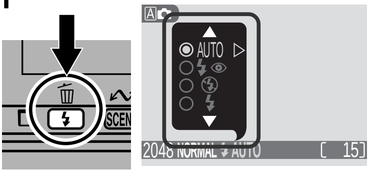
撮影目的や撮影意図に合わせて４種類のスピードライトモードを選択できます。

モード設定	機能	使用場面
AUTO 自動発光	被写体が暗い場合にスピードライトが自動的に発光します。	•一般的なスピードライト撮影をする場合に使用します。
赤目軽減自動発光	スピードライトが発光する前にあらかじめ数回小発光させて、人物の目が赤く写る赤目現象を軽減します。	•ポートレート撮影に使用します（撮影の際、被写体の人物にスピードライトが小発光するのをしっかり見てもらうと効果が上がります）。 •シャッターチャンスを優先するような撮影にはおすすめできません。
発光禁止	スピードライトの発光を禁止します。	•暗い場所で自然光をとらえたい場合、またはスピードライトの使用が禁止される場所で撮影するときに設定します。 •手ブレ警告表示（）が表示される場合は手ブレに注意して撮影してください。
強制発光	被写体の明るさに関係なく、必ずスピードライトが発光します。	•昼間の屋外撮影などで顔に影がかかる場合などに使用します。

※ 選択されているシーンモードによっては、スピードライトモードが自動的に選択されます。詳しくはシーンモードのページ（37～40）をご覧ください。

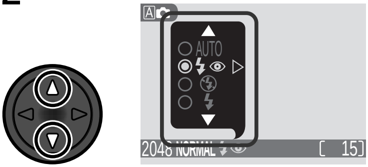
スピードライトモードは ⚡ ボタンを押して選択します。

1



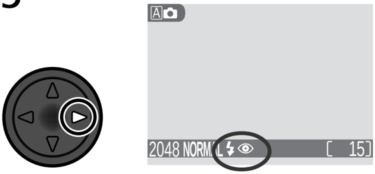
スライドスイッチを📷にセットして、⚡ ボタンを押すと、スピードライトモードのリストが表示されます。

2



▲または▼を押して、セットしたいスピードライトモードのアイコンを選択します。

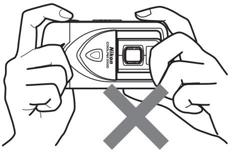
3



▶を押すとスピードライトモードがセットされ、液晶モニタに選択したスピードライトモードのアイコンが表示されます（マルチセレクターの▶を押さないまま２秒以上経過した場合も自動的に選択したスピードライトモードがセットされます）。

✓ スピードライト使用上の注意

スピードライトを使用するときは、指や髪の毛などでスピードライトの前をさえぎらないように注意してください。指や髪の毛などでスピードライトがさえぎられていると、画像が暗くなったり、大きな影が写り込んだりする場合があります。



スピードライトランプが点滅しているときは

スピードライト充電中にシャッターボタンを半押しすると、モニタ下側のスピードライトランプが点滅します。このような場合は、シャッターボタンからいったん指を離し、しばらくしてからシャッターボタンを押し直してください。

感度表示について

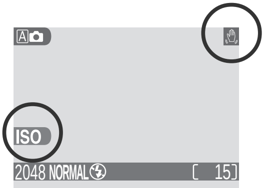
「撮像感度」とは、カメラが光に対して反応する速度を表したものです。通常、COOLPIX3500の撮像感度はISO50に相当します。

暗い場所でスピードライトモードが発光禁止（⚡）にセットされているときは、カメラが自動的に感度を上げることがあります。これはシャッタースピードの低下による手ブレを防ぐためです。撮像感度が上がっている状態では、液晶モニタに感度表示（**ISO**）が表示されます。

感度表示（**ISO**）が表示されているときに撮影された画像は、標準感度に比べ多少ザラついた画像になります。

暗い場所で撮影するときのご注意

スピードライトモードを発光禁止（⚡）にセットして暗い場所で撮影すると、シャッタースピードが遅くなって画像がブレる場合があります。この場合、液晶モニタに手ブレ警告表示（✋）が表示されますので、三脚などを使用し、カメラを安定させて撮影してください。なお、このような状況で撮影された画像にはノイズが発生する場合があります。





セルフタイマー機能について

セルフタイマーを使用すると、シャッターボタンを押してから10秒後に撮影します。記念写真などで撮影者自身が写りたい時や、シャッターボタンを押すときに生じる手ブレを防ぎたい時などに便利です。

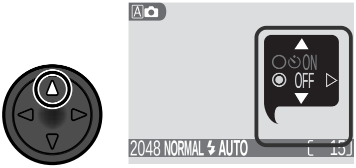
セルフタイマーの使用方法

1 カメラを固定します。

- 三脚などを使用し、カメラを安定させてください。

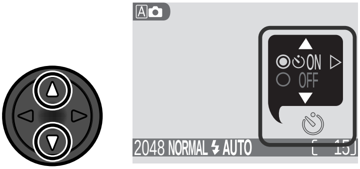
2 セルフタイマーモードをONにセットします。

2.1



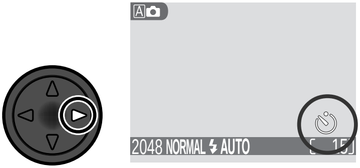
スライドスイッチを📷にセットして、マルチセレクターの▲を押すと、セルフタイマーモードのリストが表示されます。

2.2



▲または▼を押して、ONを選択します。

2.3

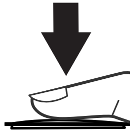


▶を押すとセルフタイマーモードがONにセットされ、セルフタイマーモード表示が液晶モニタに表示されます（マルチセレクターの▶を押さないまま2秒以上経過した場合は、セルフタイマーモードが変更されないまま撮影画面に戻ります）。

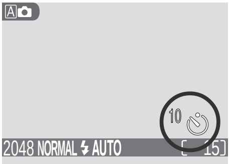
3 構図を決めます。

- ピントを合わせたい被写体がいちばん手前に配置される構図にしてください。

4 シャッターボタンを深く押し込んで、セルフタイマーを作動させます。

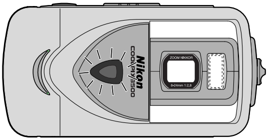


シャッターボタンを下まで深く押し込みます。



撮影までの秒数を示すカウントダウン表示が液晶モニタに表示されます。

- シャッターボタンを深く押し込むと、セルフタイマーが作動し始めます。
- シャッターボタンを押すと同時に、カメラ前面のセルフタイマーランプが点滅し始めます。セルフタイマーランプはシャッターがきれる直前約 1 秒間は点灯します。



- 作動中のセルフタイマーを停止するには、マルチセレクターの▲を押すか、もう一度シャッターボタンを押してください。

セルフタイマー機能が使用できない場合

撮影モードで動画（42）またはシーンモードで打ち上げ花火（39）をセットしている場合は、セルフタイマー機能が使用できません。

ズーム機能について

COOLPIX3500は、光学ズーム（3倍）と電子ズーム（4倍）を装備しています。ズームボタンで、被写体の大きさを変えることができます。

光学ズーム

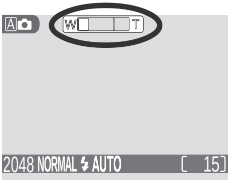
光学3倍ズームは、カメラのズームレンズを使用して、被写体を3倍まで拡大します。



広角



望遠

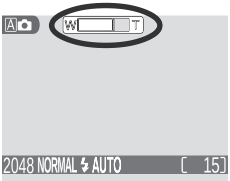


ズームボタンを押している間、液晶モニタの上部にズーム表示が表示されます。

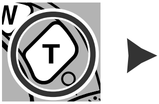
- (W)ボタンを押すと、広角側にズーミングします。液晶モニタの見える範囲が広くなります。
- (T)ボタンを押すと、望遠側にズーミングします。液晶モニタの画像（被写体）が拡大されます。
- 光学ズームは動画モードでは使用できません。

電子ズーム

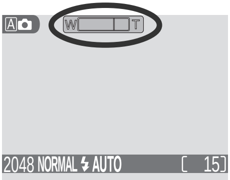
光学ズームを最も望遠側にして、T ボタンを2秒以上押し続けると、自動的に電子ズームが作動します。



T ボタンを押して光学ズームを最も望遠側にします。



T ボタンを2秒以上押し続けます。



電子ズームが作動すると、ズーム表示が黄色に変わります。

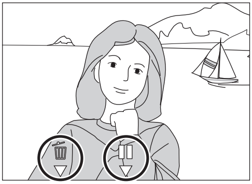
- 電子ズームは、被写体を光学ズームの最大倍率（3倍）の約4倍まで拡大することができます。
- 動画モードの場合、電子ズームで約3倍まで拡大することができます。
- 電子ズームをキャンセルするには、ズーム表示が白色に戻るまで W ボタンを押し続けてください。
- 電子ズームを使って撮影する場合、常に画面中央の被写体にピントが合います。
- 連写モードを「マルチ連写」（58）に設定した場合には、電子ズームは作動しません。また、電子ズーム作動中は「マルチ連写」に設定できません。

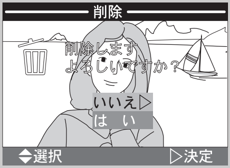
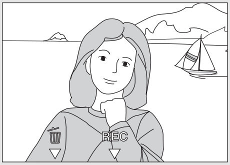
電子ズームについて

電子ズームは、カメラがとらえた画像データをデジタル処理することで、画像の中央部を拡大しています。光学ズームとは違い、画像の中央部分を単に画面全体に拡大するため、粒子の粗い画像になります。

記録中の画像の削除と表示の延長

画像が撮影されてからコンパクトフラッシュカードへの記録が開始されるまでの数秒間、液晶モニタに撮影画像が表示されます。この間、次の操作が可能です。



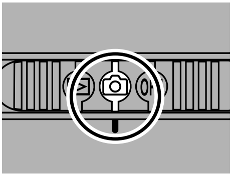
目的	ボタン	カメラの動作
表示されている画像を削除する	🗑▽ ⚡	🗑を押すと、削除確認画面が表示されます。マルチセレクターの▲/▼を押して、「いいえ」か「はい」のいずれかを選択し、▶を押すと、選択が実行されます。  • **「いいえ」**:画像は削除されずコンパクトフラッシュカードに記録されます。 • **「はい」**:画像は記録されず削除されます。 操作がないまま約10秒経過すると、表示画像の記録が開始されて撮影画面に戻ります。
画像の表示を延長する	⏸▽ SCENE	SCENEボタンを押すと、画像の表示を約10秒まで延長し、液晶モニタにREC▽が表示されます。REC▽を表示中は次の操作ができます。  • REC▽ SCENE ボタンを押すと、表示画像の記録を開始して撮影画面に戻ります。 • 🗑▽ ⚡ボタンを押すと、削除確認画面が表示されます。 操作がないまま約10秒経過すると、表示画像の記録が開始されて撮影画面に戻ります。

撮影メニュー

スライドスイッチを📷にセットしたときにMENUボタンを押すと、撮影の際に使用するメニューが表示されます（動画モードではメニューは表示されません）。

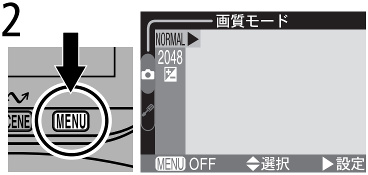
撮影メニュー画面の操作方法

1



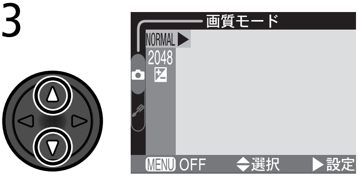
スライドスイッチを📷にセットします。

2



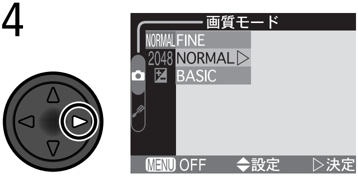
MENUボタンを押すと、現在設定されている撮影モードのメニューが表示されます。

3



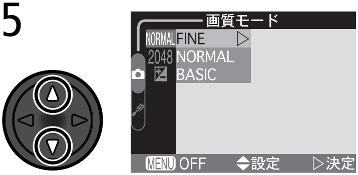
マルチセレクターの▲または▼で、セットしたいメニュー項目を選択します。

4



▶を押すと、選択したメニュー項目の詳細の画面に切り換わります。

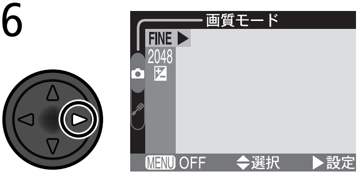
5



▲または▼でセットしたいメニューを選択します。

- 1つ前のステップに戻るには、マルチセレクターの◀方向を押します。

6



▶を押すと、選択したメニューが設定されます。

- メニュー画面を終了するにはMENUボタンを押します。

撮影メニューの詳細

ここでは、A📷モード、M📷モード、シーンモードで使用する撮影メニュー項目について紹介します。



A📷モード、シーンモード時の撮影メニュー

メニュー項目	
画質モード	53
画像サイズ	54
露出補正	55



M📷モード時の撮影メニュー

メニュー項目	
画質モード	53
画像サイズ	54
ホワイトバランス	56～57
露出補正	55
連写	58
BSS	59
輪郭強調	60

画質モードと画像サイズ

コンパクトフラッシュカードに記録される画像ファイルの大きさは、画質モードと画像サイズで決定します。そのため、コンパクトフラッシュカードに記録できる画像の数は、画質モードと画像サイズの組み合わせによって変わります。16MB、32MBのコンパクトフラッシュカードに記録できる画像コマ数の目安は次の通りです（JPEG圧縮の性質上、撮影コマ数は画像の絵柄によって大きく異なります）。

	16MBコンパクトフラッシュカード					32MBコンパクトフラッシュカード				
	2048	1600	1280	1024	640	2048	1600	1280	1024	640
FINE	10	16	24	37	86	20	32	49	75	172
NORMAL	19	31	47	69	144	39	62	94	138	287
BASIC	37	59	86	121	229	75	117	172	242	457

画質モード

画像を記録する際に、処理を施して画像ファイルの容量を小さくすることを圧縮といいます。
COOLPIX3500は画像をJPEG形式で圧縮して記録します。画像の圧縮率を高くすると、画像ファイルが小さくなり、コンパクトフラッシュカード内の空き容量が増えます。ただし、圧縮してファイルを小さくすると、画質が低下し、画像中の細かい部分の再現性は低下していきます。

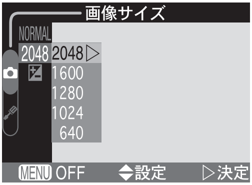


用途に応じて、3種類の画質モードを選択できます。

設定	圧縮率	内容
FINE	約1/4	画像を拡大する場合や、細かい模様をプリンタで表現したい場合に適しています。
NORMAL	約1/8	通常の記念撮影などの画像をコンピュータの画面に表示したり、プリントする場合に適しています。
BASIC	約1/16	電子メールで送る画像やホームページ用の画像に適しています。

画像サイズ

5種類の画像サイズ(単位:ピクセル)を選択できます。画像サイズを小さくすると画像ファイルが小さくなり、電子メールで送る場合やホームページ用の画像として適しています。ただし、小さい画像サイズで大きくプリントしようとすると、粒子が粗い画像になります。コンパクトフラッシュカードの容量や撮影の状況に応じて画像サイズを選択してください。

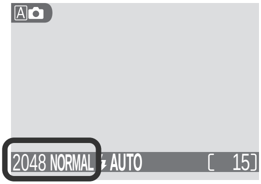


設定	サイズ(ピクセル)	プリント時のサイズ*	使用目的
2048	2048 × 1536	約 17 × 13 cm	この使用説明書のサイズから A4 サイズ程度までの大きさで画像をプリントする場合に適しています。
1600	1600 × 1200	約 13 × 10 cm	ハガキサイズ程度の大きさで画像をプリントする場合に適しています。
1280	1280 × 960	約 10 × 8 cm	L判の大きさで画像をプリントする場合に適しています。
1024	1024 × 768	約 9 × 7 cm	名刺のサイズでプリントする場合や、パソコンのモニタに表示する場合に適しています。
640	640 × 480	約 5 × 4 cm	電子メールやホームページに利用する場合に適しています。

* 画像解像度を 300dpi に設定した場合

画質モード表示と画像サイズ表示について

設定した画質モードと画像サイズは、右図のように液晶モニタに表示されます。



プリントのサイズ

同じ画像サイズでも、プリント時の解像度が高いほどプリントのサイズは小さくなります。

露出補正

被写体が非常に明るかったり、非常に暗かったりする場合や、被写体の明るさの差が著しく異なる場合、露出補正の数値を変えることで画像の明るさを調整できます。「露出補正」は、−2.0EVから＋2.0EVまでの範囲で、露出値を調整できます。



露出補正値の選択

- 構図の大部分が非常に明るい場合（太陽が反射する水や砂、雪を撮影する場合など）、背景が被写体よりも明るすぎる場合は、カメラが自動的に被写体を暗くする傾向があります。被写体が暗すぎるときは補正値を＋側にセットしてください。
- 構図の大部分が非常に暗い場合（濃い緑の森を撮影する場合など）、背景が被写体よりも暗すぎる場合は、カメラが自動的に被写体を明るくする傾向があります。被写体が明るすぎるときは補正値を−側にセットしてください。

露出補正値表示

露出補正をセットすると、液晶モニタに露出補正値が表示されます。



ホワイトバランス

ホワイトバランスについて

人間の目は、晴天、曇り空、白熱電球や蛍光灯の室内など、光源の色に関係なく白い被写体は白く見えます。それに対してデジタルカメラでは、人間の目で白く見える色を画像でも白く見えるようにするには、照明光の色に合わせて調整を行う必要があります。この調整を「ホワイトバランス」を合わせると言います。

ホワイトバランスの設定

「ホワイトバランス」は、Mモード時の撮影メニューで設定することができます（Aモード時やシーンモード時は、照明光の状況に応じてホワイトバランスが自動的に設定されます）。

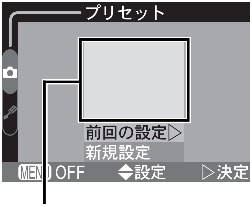
- ほとんどの場合はオート（**A**）で撮影できますが、意図通りのホワイトバランスにならない場合や、特定の照明光や撮影条件に固定したい場合には他のホワイトバランスにセットしてください。



設定	内容
A オート	照明の状態に合わせて、ホワイトバランスを自動的に調整します。ほとんどの場面で使用できます。
プリセット	撮影者が白い被写体を基準にホワイトバランスを調整することができます（57）。
太陽光	太陽光の下で撮影するときに使用します。
電球	白熱電球を灯している室内で撮影するときに使用します。
蛍光灯	蛍光灯を灯している室内で撮影するときに使用します。
曇天	曇り空の下で撮影するときに使用します。
スピードライト	スピードライトを発光させて撮影するときに使用します。

プリセットホワイトバランスについて

プリセットホワイトバランスは、強い色合いの照明下でホワイトバランスを調整する場合に使用します(赤みがかった照明下で撮影した画像を、普通の照明下で撮影したように見せる場合など)。「ホワイトバランス」メニューから(プリセット)を選択すると、液晶モニタに右のようなプリセットホワイトバランス設定画面が表示されます。

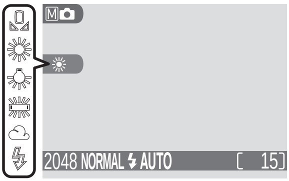


ホワイトバランス測定窓

設定	内容
前回の設定	前回プリセットされたホワイトバランスに設定します。
新規設定	新規にホワイトバランス値を測定するときに設定します。撮影に使用する照明下で紙などの白い被写体をホワイトバランス測定窓に映して、「新規設定」を選択して、マルチセレクターの▶を押すと、新規にプリセットホワイトバランス値を測定します。プリセット中にはシャッターが切れる音がしてズームレンズが作動しますが、画像は記録されません。

ホワイトバランス表示について

ホワイトバランスをオート(**A**)以外に設定すると、設定したホワイトバランス表示が液晶モニタに表示されます。



連写

連写方式を単写、連写、マルチ連写から選択します。



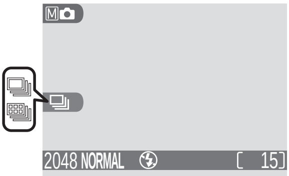
設定	内容
S 単写	シャッターボタンを深く押し込むと、1 コマの画像を撮影します。そのままシャッターボタンを押し続けても、連続撮影はできません。
連写	シャッターボタンを深く押し続けることにより、約1.5コマ/秒で連続撮影できます（画質モードがNORMAL、画像サイズが2048 × 1536の画像を連続で約5コマ撮影できます）。
マルチ連写	マルチ連写は、画像サイズを2048にセットした時のみセット可能です。シャッターボタンを深く押し込むと、1度に連続して16コマの連続撮影を行います。512 × 384ピクセルの16コマの画像は、1つの画像ファイル（2048 × 1536ピクセル）に保存されます。

「連写」、「マルチ連写」に設定したときのご注意

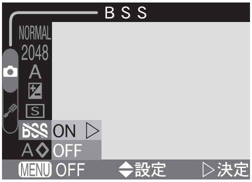
- 「連写」、または「マルチ連写」に設定した場合には、スピードライトは自動的に発光禁止になります。
- 「マルチ連写」に設定した場合には、電子ズーム（49）は作動しません。また、電子ズーム作動中は「マルチ連写」に設定できません。
- オートフォーカス、露出、ホワイトバランスは1コマ目で決定されます。

連写モード表示

「連写」、または「マルチ連写」に設定すると、連写モード表示が液晶モニタに表示されます。



BSS



BSSとは「ベストショットセレクタ」(**B**est **S**hot **S**elector) のことで、最大10コマまでの画像を連続撮影し、カメラが自動的により鮮明な画像を1コマ選んでコンパクトフラッシュカードに記録する機能です。BSSをONにすると、次のような手ブレをしやすい撮影時に効果的です。

- カメラを望遠側にズーミングしている場合
- 照明が暗いときにスピードライトを使用できない場合 (例えば、スピードライトが届かないところに被写体があったり、暗い照明で自然な光を撮影する場合など)

設定	内容
ON	シャッターボタンを深く押し続けると、最大10コマまでの画像を連続撮影します。撮影された画像のうち、カメラが自動的により鮮明な画像を1コマ選び、コンパクトフラッシュカードに記録します。フォーカス、露出、ホワイトバランスは撮影する最初の画像で決定します。スピードライトは自動的に発光禁止になります。
OFF	BSSをセットしません。

BSSについてのご注意

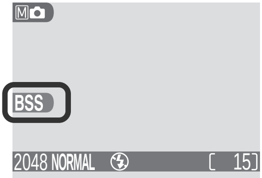
BSSを設定しても、動いている被写体を撮影したり、連続撮影中に構図を変えると、適切な結果が得られない場合があります。

「連写」、「マルチ連写」設定時のBSSについて

「連写」か「マルチ連写」に設定しているときは、BSSを使用できません。また、BSSをONに設定しているときに「連写」または「マルチ連写」を選択すると、BSSは自動的にOFFになります。

BSS表示について

BSSがONに設定されていると、BSS表示が液晶モニタに表示されます。



輪郭強調

撮影シーンや好みに応じて、記録する画像の輪郭の強弱を調整します。



設定	内容
AUTO	カメラが、撮影した画像から最適な輪郭を自動的に調節します（調節は画像によって異なります）。
強	輪郭の強調を強めにセットします。個々の被写体の境目がはっきりとした画像になるため、画像にメリハリをつけたい場合などに使用します。
標準	撮影したすべての画像を標準的な輪郭に固定します。
弱	輪郭の強調を弱めにセットします。個々の被写体の境目がソフトな感じの画像になります。
OFF	輪郭強調しません。

輪郭強調について

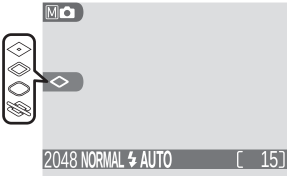
輪郭強調の効果は撮影時の液晶モニタでは確認できません。

パソコンで加工する画像には

画像をパソコンで加工する場合は、輪郭強調を**標準**または**弱**に設定することをおすすめします。

輪郭強調表示について

輪郭強調をAUTO以外に設定すると、輪郭強調表示が液晶モニタに表示されます。



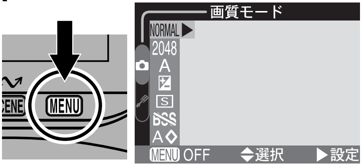
セットアップメニュー

この章ではセットアップメニューについて紹介します。セットアップメニューでは、基本的なカメラ設定の変更や、コンパクトフラッシュカードのフォーマットなどを行うことができます。

セットアップメニュー画面を表示するには、スライドスイッチが📷にセットされ、Ａ📷モード、Ｍ📷モード、シーンモードのいずれかの撮影モードに設定されている必要があります。🎥(動画) モードでは表示できません。

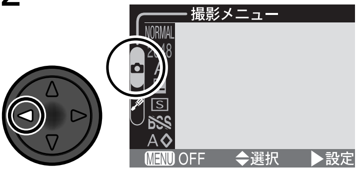
セットアップメニュー画面の操作方法

1



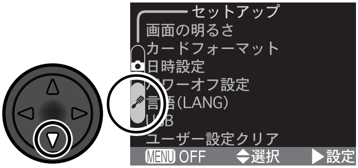
MENUボタンを押して、現在の撮影モードのメニュー画面を表示させます。

2



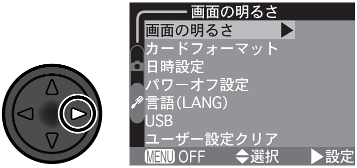
マルチセレクターの◀ を押します。📷タブが選択されて、緑で表示されます。

3



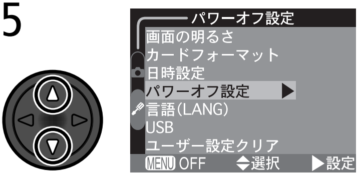
▼を押します。🔧タブが選択されて、緑で表示されます。

4



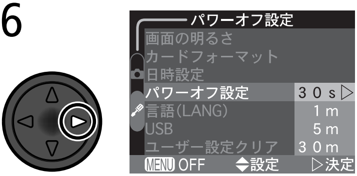
▶を押して、セットアップメニューを表示させます。

5



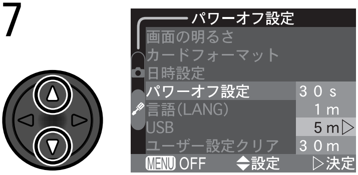
▲または▼で、セットしたいメニュー項目を選択します。

6



▶を押すと、選択したメニュー項目の詳細の画面に切り換わります。

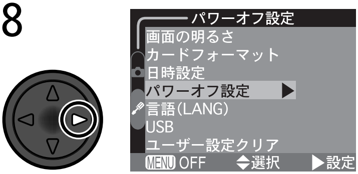
7



▲または▼でセットしたいメニューを選択します。

- 1つ前のステップに戻るには、マルチセレクターの◀方向を押します。

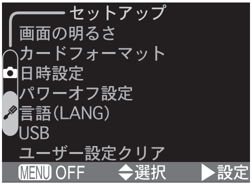
8



▶を押すと、選択したメニューが設定されます。

- メニュー画面を終了するにはMENUボタンを押します。

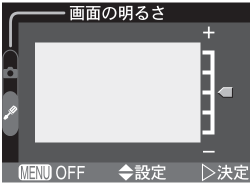
セットアップメニュー画面には次のメニュー項目があります。



メニュー項目	
画面の明るさ	63
カードフォーマット	64
日時設定	65
パワーオフ設定	65
言語（LANG）	66
USB	66
ユーザー設定クリア（M📷のみ）	68

画面の明るさ

マルチセレクターの▲または▼を押して、緑色の矢印で液晶モニタの明るさを調整します。



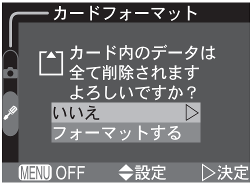
セットアップメニュー項目について

「画面の明るさ」、「カードフォーマット」のメニュー項目は、スライドスイッチを▶にセットしたときの再生メニュー（77）でも操作できます。

カードフォーマット

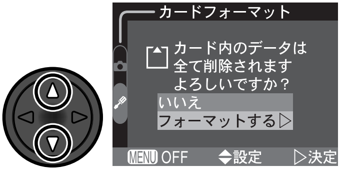
コンパクトフラッシュカードをフォーマットする場合に使用します。

コンパクトフラッシュカードをはじめて使用する場合には、カードのフォーマットが必要です。



コンパクトフラッシュカードをフォーマットする手順は次の通りです。

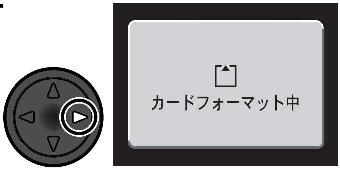
1



マルチセレクターの▲または▼で「フォーマットする」を選択します。

- フォーマットを行わない場合は「いいえ」を選択して▶を押してください。

2



▶を押すとフォーマットが開始され、「カードフォーマット中」というメッセージが表示されます。

- フォーマットが終了すると、セットアップメニュー画面に戻ります。

カードフォーマット中のご注意

「**カードフォーマット中**」のメッセージが液晶モニタに表示されている間は、スライドスイッチをOFFにしたり、バッテリーやコンパクトフラッシュカードを取り出したりしないでください。

フォーマットする前に

カードをフォーマットすると、カード内のデータは全て消去されます。フォーマットする前に保存したい画像をパソコンに転送することをおすすめします。

日時設定

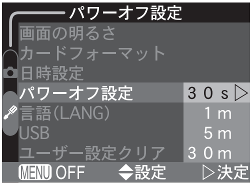
カメラに内蔵された時計の日付と時刻を設定します。詳しくは、「基本操作—撮影前の準備」をご覧ください（21）。



パワーオフ設定

オートパワーオフ機能が作動するまでの時間を設定します。バッテリーを使ってカメラを操作する場合、30秒間（メニューが表示されているときは3分間）カメラの操作を行わないとカメラはオートパワーオフ機能（低消費電力モード）に切り換わり、液晶モニタが消灯します。

- オートパワーオフ機能が作動するまでの時間は、30 s（30秒）、1 m（1分）、5 m（5分）、30 m（30分）のいずれかに設定できます。



オートパワーオフ機能（低消費電力モード）

オートパワーオフ機能（低消費電力モード）では、カメラの機能はすべて停止して、バッテリーの消耗を抑えます。スライドスイッチを切り換えるか、シャッターボタンを半押しすると低消費電力モードは解除され、液晶モニタが点灯します。
カメラの電源として、ACアダプタキットEH-60（別売；91）を使用している場合は、オートパワーオフ機能に切り換わる時間は30分に固定されます。

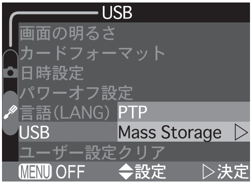
言語（LANG）

メニューやメッセージを表示する言語を選択します。De（ドイツ語）、En（英語）、Fr（フランス語）、日（日本語）、Es（スペイン語）のいずれかに切り換えることができます。



USB

USBケーブルを使ってカメラとパソコンを接続する前に、ご使用のパソコンのOS（オペレーションシステム）に合わせてUSB通信方式を選択します。初期設定は「Mass Storage」に設定されています。



OS	USB通信方式
Windows XP Home Edition/Professional	**PTP** または **Mass Storage**
Mac OS X（10.1.2以降）	**PTP**
Windows 2000 Professional Windows Millennium Edition（Me） Windows 98 Second Edition（SE） Mac OS 9（9.0、9.1、9.2）	**Mass Storage**

Mac OS Xをご使用の場合

Mac OS X 10.1.2をご使用の場合は、カメラのボタンでは画像を転送できません。画像を転送する場合は、Nikon Viewの ボタンを使用してください。カメラのボタンで画像を転送する場合は、Mac OS X 10.1.3以降が必要です。

Windows 2000 Professional、Windows Me、Windows 98SE、Mac OS 9をご使用の場合のご注意

ご使用のOSがWindows 2000 Professional、Windows Me、Windows 98SE、Mac OS 9のパソコンにCOOLPIX3500をUSBケーブルUC-E3で接続する場合には、セットアップメニューの「USB」を“PTP”に設定しないでください。
（初めてカメラをお使いになる場合の設定〔初期設定〕は、“Mass Storage”となっています）。

「USB」を“PTP”で設定して、上記OSのパソコンと接続した場合には、下記の要領でパソコンとの接続を外してください。

再度パソコンと接続する場合は、必ず「USB」を“Mass Storage”に変更した後、パソコンと接続してください。

Windows 2000 Professionalの場合：

「新しいハードウェアの検索ウィザードの開始」と表示されますので、「キャンセル（中止）」を選択して画面を閉じ、パソコンとの接続を外してください。

Windows Meの場合：

「ハードウェア情報データベースの更新」の後に「新しいハードウェアの追加ウィザード」と表示されますので、「キャンセル（中止）」を選択して画面を閉じ、パソコンとの接続を外してください。

Windows 98SEの場合：

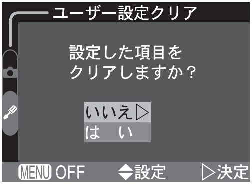
「新しいハードウェアの追加ウィザード」と表示されますので、「キャンセル（中止）」を選択して画面を閉じ、パソコンとの接続を外してください。

Mac OS 9（9.0、9.1、9.2）の場合：

「USB装置“Nikon Digital Camera E3500_PTP”に必要なドライバが使用できません。インターネット経由でドライバを捜しますか？」と表示されますので、「キャンセル（中止）」を選択して画面を閉じ、パソコンとの接続を外してください。

ユーザー設定クリア（Mモード時のみ）

カメラにセットされた各種設定を初期設定にリセットします。撮影モードをMモードに設定している場合のみに操作できますが、その他の撮影モードで設定された内容もリセットされます。



設定	内容
いいえ	設定をリセットしません。
はい	各種設定を初期設定にリセットします。

以下の設定項目がリセットされます。

設定項目	初期設定
ホワイトバランス	オート
露出補正	±0
連写	単写
BSS	OFF

設定項目	初期設定
輪郭強調	AUTO
画面の明るさ	3
パワーオフ設定	30 s

ユーザー設定クリアを行うとファイル名の連番はクリアされ、次の撮影からはコンパクトフラッシュカード内にある一番大きいファイル番号の次の番号から連番を開始します（☞ 71）。

ファイル名の連番を0001にリセットしたいときは

ファイル名の連番を0001にリセットするときは、まずコンパクトフラッシュカード内の画像を全て削除する（☞ 79）か、コンパクトフラッシュカードをフォーマット（☞ 64）した後、ユーザー設定クリアを行ってください。

画像の再生

▶ 基本的な再生

▶ 再生メニュー

この章は次の２部で構成されています。

基本的な再生（👁 70～76）

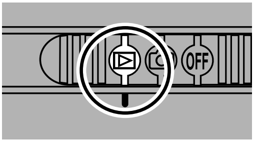
スライドスイッチを▶にセットしたときのボタン類で行う操作について説明します。

再生メニュー（👁 77～85）

スライドスイッチを▶にセットしたときの再生メニューについて説明します。

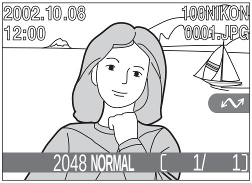
基本的な再生

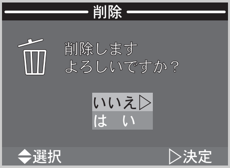
スライドスイッチを▶にセットすると再生モードになり、液晶モニタには最後に撮影された画像が表示されます。ここでは、マルチセレクターやカメラの背面にあるボタンを使用する再生モードの操作について説明します。



1 コマ再生モード

1 コマ再生モード時は次の操作が可能です。



機能	ボタン	内容
別の画像を見る		▲を押すと、現在液晶モニタに表示されている画像の1つ前に撮影した画像を見ることができます。 ▼を押すと、現在表示されている画像の次に撮影した画像を見ることができます。
サムネイル画像を見る	▦（W）	▦（W）ボタンを押すと4コマの縮小した画像が表示される「サムネイルモード」になります（72）。
表示されている画像を削除する	🗑（⚡）	画像再生時に🗑（⚡）を押すと、削除確認画面が表示されます。マルチセレクターの▲/▼を押して、「いいえ」か「はい」のいずれかを選択し、▶を押すと、選択が実行されます。  • **いいえ**：画像は削除されず再生モードに戻ります。 • **はい**：画像が削除されます。
表示されている画像を拡大する	🔍（T）	🔍（T）ボタンを押すと、画像が最大約6倍まで拡大表示されます（73）。

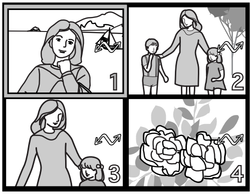
機能	ボタン	内容
パソコンに転送する画像を選択する	∿（SCENE）	撮影された画像に∿マークをつけたり、消したりすることであらかじめパソコンに転送する画像を選択することができます。転送方法については付属のクイックスタートガイドをご覧ください。
スモールピクチャーを作成する	SMALL PIC.（QUICK▶）	SMALL PIC.（QUICK▶）ボタンを押すと、表示している画像のサイズを320×240に縮小した画像を、元の画像とは別に作成します（74）。
動画を再生する	QUICK▶	動画の再生と、再生の一時停止を行います（76）。
画像情報を表示/非表示にする		◀を押すごとに、画像情報の表示/非表示を切り換えます（7）。
再生メニューを表示する	MENU	MENU ボタンを押すと、再生メニュー（77）が表示されます。

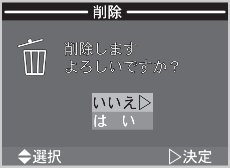
ファイル名とフォルダ名

COOLPIX3500で撮影した画像は、DSCN0001～DSCN9999という名前で記録されます（スモールピクチャーの場合はSSCN0001～SSCN9999）。このファイル名はカメラが自動的に作成するもので、4桁の番号は撮影順に連番でつけられます。各ファイル名の最後には、静止画の場合は.JPG、動画の場合には.MOVという画像のタイプを示す拡張子がつきます。また、ファイルを保存するフォルダもカメラが自動的に作成し、フォルダ名には3桁のフォルダ番号がつけられます。

サムネイルモード

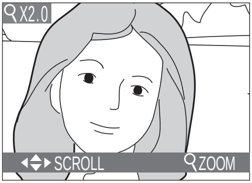
1コマ再生モード時に ▦（W）ボタンを押すと、液晶モニタに4コマの縮小した画像（サムネイル画像）が表示される「サムネイルモード」になります。操作は次の表の通りです。



機能	ボタン	内容
画像を選択する		▲/▼/◀/▶を押して画像を選択します。
表示コマ数を変更する	▦（W）/🔍（T）	サムネイル画像の4コマ表示時に▦（W）ボタンを押すと、サムネイル画像の9コマ表示になります。9コマ表示時に🔍（T）ボタンを押すと4コマ表示に、4コマ表示時に🔍（T）ボタンを押すと1コマ表示（通常の表示）になります。
選択した画像を削除する	🗑（⚡）	削除確認画面が表示されます。マルチセレクターの▲/▼を押して、「いいえ」か「はい」のいずれかを選択し、▶を押すと、選択が実行されます。  • **いいえ**：画像は削除されず再生モードに戻ります。 • **はい**：画像が削除されます。
パソコンに転送する画像を選択する	⤳（SCENE）	撮影された画像に⤳マークをつけたり、消したりすることであらかじめパソコンに転送する画像を選択することができます。転送方法については付属のクイックスタートガイドをご覧ください。
スモールピクチャーを作成する	SMALL PIC.（QUICK▶）	SMALL PIC.（QUICK▶）ボタンを押すと、表示している画像のサイズを320×240に縮小した画像を、元の画像とは別に作成します（👁 74）。

拡大表示モード

Q（T）ボタンを押すと、1コマ再生モード時に表示された画像を拡大表示できます（拡大表示は動画およびスモールピクチャーの画像では使用できません）。



機能	ボタン	内容
画像を拡大表示する	Q（T）	押すごとに画像を拡大表示します。最大約6倍まで拡大されます。拡大表示中は Q アイコンと拡大倍率が液晶モニタの左上に表示されます。
画像の他の部分を表示する		▲/▼/◀/▶を押すと、画像をスクロールさせて、見たい部分に移動することができます。
拡大表示をキャンセルする	W	拡大表示時に W ボタンを押すと、拡大表示をキャンセルして1コマ再生モードに戻ります。

画像再生について

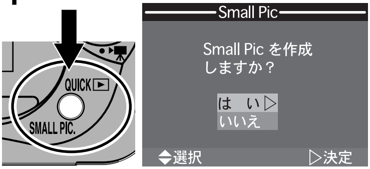
- カード内の画像を素早くスクロールできるようにするために、スクロール直後は画像が粗くなることがあります。
- マルチセレクターの▲または▼を押し続けると、表示される画像は変わらずに、液晶モニタの右下に表示される画像のコマ番号が増減します。表示したいコマ番号が表示されたらマルチセレクターから指を離すと、表示したい画像が表示されます。
- 最後の画像が表示されているときにマルチセレクターの▼を押すと、最初の画像が表示されます。最初の画像が表示されているときに▲を押すと、最後の画像が表示されます。

スモールピクチャーの作成

画像の1コマ再生時に **SMALL PIC.**（QUICK▶）ボタンを押すと、元の画像とは別に表示している画像の画像サイズを320×240に縮小したスモールピクチャー（縮小画像）を作成します。ファイルサイズが小さいので電子メールで送ったりホームページで使用する場合に適しています。

スモールピクチャーの作成は、1コマ再生モード、または4コマ、9コマのサムネイルモードで行います。

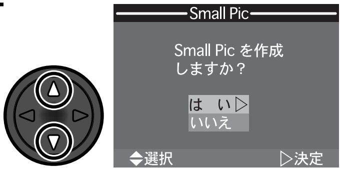
1



スモールピクチャーを作成する画像を表示させて**SMALL PIC.**（QUICK▶）ボタンを押します。

- 確認画面が表示されます。

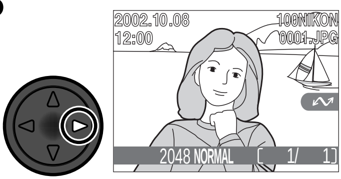
2



「はい」を選択します。

- スモールピクチャーの作成を中止する場合は「いいえ」を選択してマルチセレクターの▶を押します。

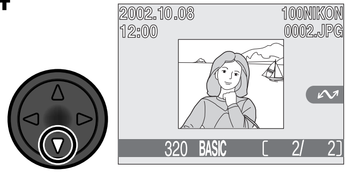
3



▶を押します。

- スモールピクチャーが作成されて、元の画像が表示されます。

4



▼を押して、作成したスモールピクチャーを確認します。

- 作成されたスモールピクチャーは、最後に記録された画像の後ろにグレー色の枠で表示されます。
- スモールピクチャーは、サムネイルモードでもグレー色の枠で表示されます。
- スモールピクチャーの撮影日時は、元の画像と同じです。

スモールピクチャーは元画像とは別の画像として記録されます。

- スモールピクチャーの画質モードは、元画像の画質モードにかかわらずBASICになります。
- スモールピクチャーのファイル名は、先頭文字「SSCN」に新規のファイル番号（画像記録フォルダ内にある最大の番号に1を加えた番号）を付けた名前（拡張子は.JPG）となります。例：SSCN0015.JPG
- 元画像を削除してもスモールピクチャーは削除されません。またスモールピクチャーを削除しても元画像は削除されません。
- 元画像のプリント指定やプロテクト設定はスモールピクチャーには反映されません。またスモールピクチャーのプリント指定やプロテクト設定は元画像には反映されません。個別に設定してください。
- スモールピクチャーの拡大表示はできません。

スモールピクチャーが作成できない場合

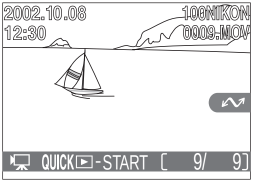
- 簡易再生モード（33）ではスモールピクチャーを作成できません。
- スモールピクチャーからさらにスモールピクチャーを作成することはできません。
- 動画のスモールピクチャーは作成できません。
- COOLPIX3500以外のデジタルカメラで撮影された画像に対しては、スモールピクチャー機能の動作は保証しておりません。

スモールピクチャーを他のカメラで見る場合

COOLPIX3500で作成されたスモールピクチャーをCOOLPIX3500以外のデジタルカメラで再生すると、正常に表示できない場合やパソコンへの転送ができない場合があります。

動画再生

1コマ再生モードでは、撮影された動画を液晶モニタで再生することができます。液晶モニタには動画であることを示すアイコン が表示されます。動画再生は次のようにQUICK▶ボタンとマルチセレクターで行います。



機能	ボタン	内容
再生を開始する	QUICK▶	動画の再生を開始します。再生が終了すると、最後のフレームが約1秒表示され、続いて最初のフレームが表示されます。
再生中に一時停止/再開する	QUICK▶	動画の再生中にQUICK▶ボタンを押すと、動画は一時停止します。もう一度押すと再開します。
一時停止中に1フレーム戻る		動画を一時停止している間に▲を押すと、動画中の1フレーム前の画像をコマ送りで戻します。
一時停止中に1フレーム送る		動画を一時停止している間に▼を押すと、動画中の1フレーム後の画像をコマ送りで再生します。最後のフレームが表示されて一時停止している場合は再生が終了し、最初のフレームに戻ります。

対面時の動画撮影について

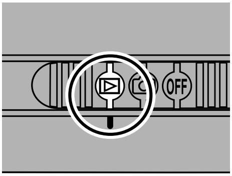
レンズを液晶モニタ側に向けて対面撮影を行う場合、液晶モニタに表示される画像と再生される画像はいずれも上下逆となります。

再生メニュー

再生メニューには、画像の削除や、不用意に画像を削除しないようにするプロテクト設定などがあります。また、デジタルプリントオーダーフォーマット（DPOF）対応（👁 80）のプリンタで画像をプリントするためのプリント指定や、撮影した全画像をパソコンに転送するかどうかの選択ができます。

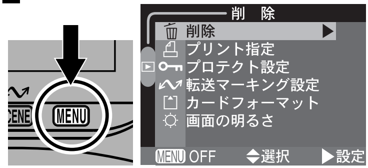
再生メニューの表示方法は次の通りです。

1



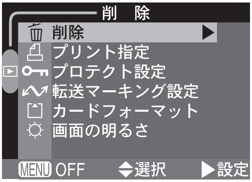
スライドスイッチを▶にセットします。

2



MENU ボタンを押すと再生メニューが表示されます。

再生メニュー画面には次のメニュー項目があります。



メニュー項目	👁
削除	78
プリント指定	81～82
プロテクト設定	83
転送マーキング設定	84
カードフォーマット	64
画面の明るさ	63

セットアップメニュー項目について

「画面の明るさ」、「カードフォーマット」のメニュー項目は、スライドスイッチを📷にセットしているときのセットアップメニュー（👁 63～64）でも操作できます。

削除

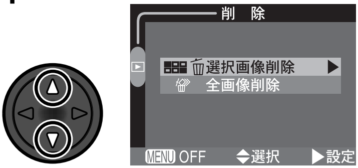
画像の削除方法を以下から選択できます。



設定	内容
選択画像削除	選択した画像を削除します。
全画像削除	記録されているすべての画像を削除します。

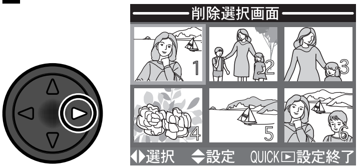
選択画像の削除

1



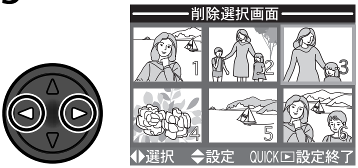
「選択画像削除」を選択します。

2



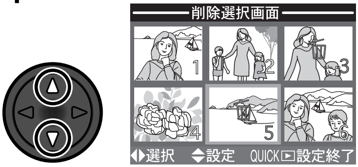
「削除選択画面」に切り換わり、画像がサムネイル表示されます。

3



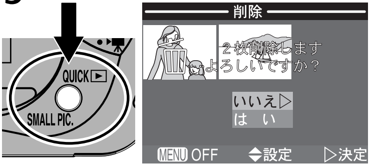
マルチセレクターの◀または▶を押して、画像を選択します。

4



▲または▼を押して、削除する画像を設定します。
- 設定した画像には 🗑 が表示されます。手順の3と4を繰り返して、削除する画像を選んでください。
- 画像の選択を取り消すときは、すでに選択した画像上でもう一度▲または▼を押して、🗑 の表示を消してください。

5



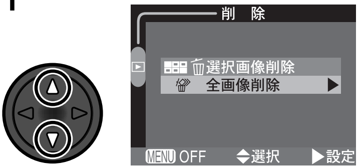
QUICK▶ ボタンを押すと削除確認画面が表示されます。▲または▼を押して「いいえ」か「はい」を選択し、▶を押すと選択が実行されます。

- **いいえ**：画像が削除されずに再生メニューに戻ります。
- **はい**： 選択した画像がすべて削除されます。

全画像の削除

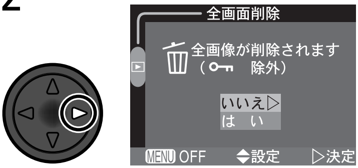
コンパクトフラッシュカードのすべての画像を削除します。

1



「全画像削除」を選択します。

2



削除確認画面が表示されます。▲または▼を押して「いいえ」か「はい」を選択し、▶を押すと選択が実行されます。

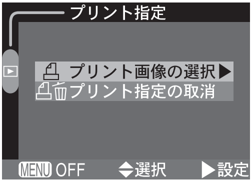
- **いいえ**：画像が削除されずに再生メニューに戻ります。
- **はい**： コンパクトフラッシュカード内のすべての画像が削除されます（プロテクト設定されている画像は削除されません）。

画像の削除について

- 削除した画像は元に戻すことはできませんのでご注意ください。残しておきたい画像はパソコンに転送して保存することをおすすめします。
- アイコンが表示されている画像はプロテクト（保護）設定されているので削除できません（83）。

プリント指定

プリント画像の選択や取消を行います。画像には、プリント時に撮影情報や撮影日を印字することができます。



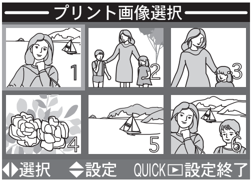
設定	内容
プリント画像の選択	プリント指定する画像を選択します。
プリント指定の取消	すべてのプリント指定を取消します。

デジタルプリントオーダーフォーマット（DPOF）

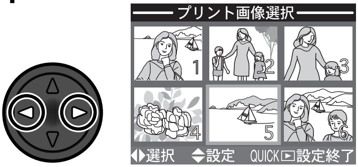
「プリント指定」で設定した情報は、デジタルプリントオーダーフォーマット（DPOF）でコンパクトフラッシュカードに保存されます。従来の写真と同様に、デジタルプリントサービス取扱店に依頼するか、DPOF対応プリンタを使用すると、プリント指定した画像をコンパクトフラッシュカードから直接プリントすることができます（ニコンデジタルフォトプリンタNP-100は、画像情報、日付機能に対応していません）。

プリント画像の選択

プリントしたい画像を選択し、プリント枚数を指定します。選択された画像には、プリント時に撮影情報（シャッタースピード、絞り値）や撮影日を印字することができます。

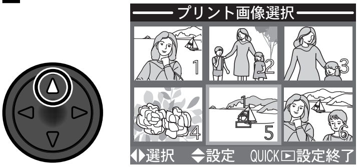


1



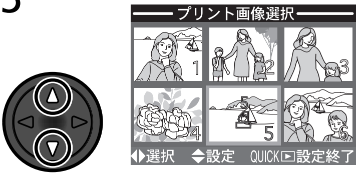
マルチセレクターの ◀ または ▶ を押して、画像を選択します。

2



▲を押して、プリント指定を設定します。設定された画像には 🖨 アイコンが表示されます。

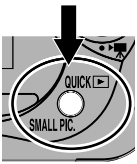
3



マルチセレクターを使ってプリントする枚数を指定します。

- ▲を押すとプリント枚数は増加し（最高9枚）、▼を押すと減少します。
- プリント指定を解除する場合は、プリント枚数が1のときに▼を押してください。
- 1～3の手順を繰り返して、プリントする画像をすべて選択します。
- プリント指定を変更せずに終了するときは、メニューボタンを押してください。

4





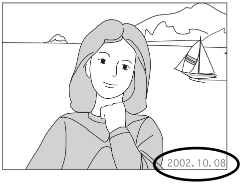


QUICK▶ ボタンを押すと操作が完了し、プリント指定のメニューが表示されます。▲または▼を押して プリント時に印字する情報（撮影情報・日付）を選択してください。

- 選択したすべての画像のシャッタースピードと絞り値をプリントするときは、「撮影情報」を選択して▶を押します。「撮影情報」の前の□に✓が入ります。
- 選択したすべての画像の撮影日をプリントするときは、「日付」を選択して▶を押します。「日付」の前の□に✓が入ります。
- 選択した項目のチェックを外すときは、その項目を選んで▶を押してください。
- プリント指定を終了し、再生メニューに戻るときは、「設定終了」を選んで▶を押します。
- 画像のプリント指定状態を変更しないでプリント指定を終了し、再生画面に戻る場合は、メニューボタンを押してください。

日付のプリント

プリント指定のメニューで「日付」の前の□に✓を入れると、従来の日付機能付きフィルムカメラで撮影した写真と同様に、プリント画像に撮影日を入れることができます。

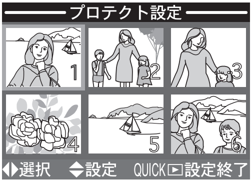


この日付は、撮影時点でのカメラの内蔵時計を反映します。撮影前に「日時設定」が正しく設定されているかご確認ください（21）。撮影後に「日時設定」を変更してもプリントされる日付には反映されません。

また、DPOFの日付機能に対応していないプリンタでプリントする場合は、この機能を使用することはできません。

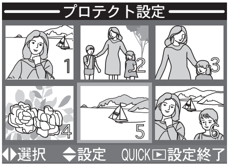
プロテクト設定

コンパクトフラッシュカードに記録されている画像を誤って削除しないようにプロテクト（保護）をかける画像を選択します。



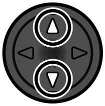
1

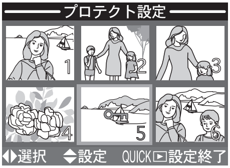




マルチセレクターの ◀ または ▶ を押して、画像を選択します。

2

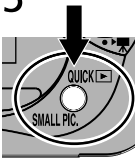


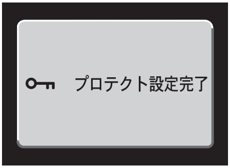


▲または▼を押して、プロテクト設定を行います。

- プロテクト設定された画像には O‑π アイコンが表示されます。
- 1と2の手順を繰り返し、プロテクトをかける画像すべてを選択します。
- プロテクトを解除する場合は、すでに選択した画像上でもう一度▲または▼を押して O‑π アイコンを消してください。

3





QUICK ▶ ボタンを押すと操作完了です。画像のプロテクト状態を変更しないでプロテクト設定を終了する場合は、メニューボタンを押してください。

プロテクト設定した画像について

プロテクト設定をした画像は簡易再生モード、1コマ再生モード、サムネイルモードで削除ができなくなります。ただし、コンパクトフラッシュカードをフォーマットするとプロテクト設定された画像を含む全ての画像が消去されてしまいますのでご注意ください。

転送マーキング設定

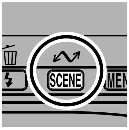
撮影した全画像をパソコンに転送するか、または全画像を転送しないようにするかを設定します。



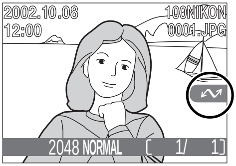
設定	内容
全ON	撮影した全画像を転送設定します。
全OFF	撮影した全画像の転送設定を解除します。

転送設定

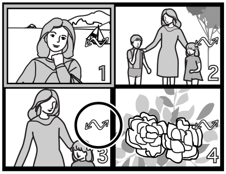
画像を再生時（レビュー再生モード時を除く）にカメラの(転送）ボタンを押すと、パソコンに転送したい画像を選択したり、すでに設定された転送設定を解除したりすることができます。



(転送）ボタン



簡易再生モード/
1コマ再生モード



サムネイルレビューモード/
サムネイルモード

- 転送設定されている画像には、(転送）マークが表示されています（初期設定では、撮影されたすべての画像が転送設定されています）。画像がすでに転送設定されている場合は、ボタンを押すと転送設定が解除されて、マークが消えます。転送設定されていない画像を選択してボタンを押すと、転送設定されてマークが表示されます。
- Nikon Viewがインストールされたパソコンとカメラを専用USBケーブルUC-E3で接続して、ボタンで画像を転送すると、マークの付いた画像がパソコンに転送されます（右ページ参照）。ただし、Mac OS Xのバージョン10.1.2をご使用の場合は、カメラのボタンでは画像を転送できません。画像を転送する場合はNikon Viewを使用してください。

転送マーキング設定についてのご注意

コンパクトフラッシュカードにすでに記録した画像に対して、すべての画像に転送設定をセットしたり、すべての画像の転送設定を解除することができます。ただし、1枚のコンパクトフラッシュカードに転送設定できる画像は999コマまでです。

999コマを超える画像を転送する場合はNikon Viewを使用すると、すべての画像を一括で転送できます。詳しくはNikon Viewのリファレンスマニュアル（CD-ROM）をご覧ください。

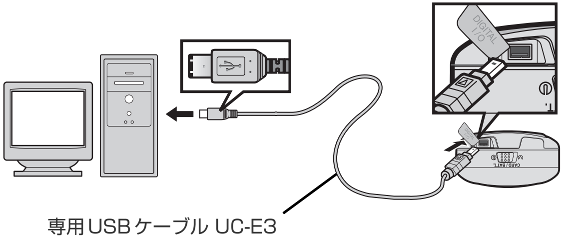
COOLPIX3500以外のニコン製デジタルカメラで設定した転送設定

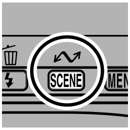
COOLPIX3500以外のニコン製デジタルカメラで転送設定したコンパクトフラッシュカードをCOOLPIX3500に挿入しても転送設定は認識されません。COOLPIX3500で再度転送設定してください。

専用USBケーブルでパソコンに接続する

Nikon View（付属のアプリケーションソフト）がインストールされたパソコンに専用のUSBケーブルUC-E3でカメラを接続すると、撮影した画像を簡単にパソコンに転送することができます。

- カメラとパソコンは専用USBケーブルUC-E3で下図のように接続します。





- 専用USBケーブルUC-E3を使用して撮影画像をパソコンに転送するには、カメラの（転送）ボタンを押す方法と、Nikon Viewの ボタンを用いる方法とがあります。Nikon Viewについての詳細は、付属のクイックスタートガイド、およびNikon Viewのリファレンスマニュアルをご覧ください。

USBハブについて

USBハブに接続した場合の動作は保証しておりません。

付録

この章ではカメラのお手入れ方法、別売アクセサリー、警告表示が表示された場合やカメラがうまく作動しない場合の対処方法、およびカメラの仕様などについて説明します。

カメラのお手入れ方法

クリーニングについて

レンズ

レンズのガラス部分をクリーニングするときは、直接手で触らないようにご注意ください。ほこりや糸くずはブロアーで払います。ブロアーで落ちない指紋や油脂などの汚れは、柔らかい布でレンズのガラスの中心から外側にゆっくりと円を描くように拭き取ってください。

液晶モニタ

ほこりや糸くずはブロアーで払ってください。指紋や油脂などの汚れは、乾いた柔らかい布で軽く拭き取ります。強く拭くと、破損や故障の原因となることがありますのでご注意ください。

カメラ本体

ブロアーを使ってほこりや糸くずを払い、乾いた柔らかい布で軽く拭いてください。海辺などでカメラを使用した後は、真水を湿らせてよく絞った柔らかい布で砂や塩分を軽く拭き取り、よく乾かします。

アルコール、シンナーなど揮発性の薬品は使用しないでください。

保管について

長期間カメラを使用しないときはバッテリーを取り出してください。バッテリーを取り出す前にカメラのスライドスイッチがOFFになっていること、レンズ部がカメラボディ内に収納されていることを確認してください。

次の場所にカメラを保管しないようにご注意ください：

- 換気の悪い場所や湿度の高い場所
- テレビやラジオなど強い電磁波を出す装置の近辺
- 温度が50℃以上、または−10℃以下の場所
- 湿度が60％を越える部屋

カメラの取り扱い上のご注意

●強いショックを与えないでください

カメラを落としたり、ぶつけたりしないように注意してください。故障の原因になります。また、レンズに触れたり、レンズに無理な力を加えたりしないでください。

●水に濡らさないでください

カメラは水に濡らさないように注意してください。カメラ内部に水滴が入ったりすると部品がサビついてしまい、修理費用が高額になるだけでなく、修理不能になることがあります。

●急激な温度変化を与えないでください

極端に温度差のある場所（寒いところから急激に暖かいところや、その逆になるところ）にカメラを持ち込むと、カメラ内外に水滴を生じ、故障の原因となります。カメラをバッグやビニール袋などに入れて、周囲の温度になじませてから使用してください。

●強い電波や磁気を発生する場所で撮影しないでください

強い電波や磁気を発生するテレビ塔などの周囲および強い静電気の周囲では、記録データが消滅したり、カメラが正常に機能しない場合があります。

●お手入れ方法について

手入れの際は、ブロアーでゴミやホコリを軽く吹き払ってから、乾いた柔らかい布で軽く拭いてください。

保護ガラスや液晶画面が汚れたときは、ブロアーでゴミやホコリを吹き払い、汚れが取れない場合は乾いた柔らかい布に市販のレンズクリーナーを少量湿らせて、軽く拭いてください。固いもので拭くと傷になりますのでご注意ください。

●保管する際には

カメラを長期間使用しないときは、バッテリーを必ず取り出しておいてください。また、カビや故障を防ぎ、カメラを長期にわたってご使用いただけるように、月に一度を目安にバッテリーを入れカメラを操作することをおすすめします。

●バッテリーやACアダプタを取り外すときは必ず電源オフの状態で行ってください

電源オンの状態で、バッテリーの取り出し、ACアダプタの取り外しを行うと、故障の原因となります。特に撮影動作中、または記録データの削除中に前記の操作は行わないでください。

●液晶モニタについて

液晶モニタの特性上、一部の画素に常時点灯あるいは常時点灯しない画素が存在することがありますが故障ではありません。予めご了承ください。記録される画像には影響はありません。

- 屋外では日差しの加減で液晶モニタが見えにくい場合があります。
- 液晶モニタ画面を強くこすったり、強く押したりしないでください。表示パネルの故障やトラブルの原因になります。もしホコリやゴミ等が付着した場合は、ブロアーブラシで吹き払ってください。汚れがひどいときは、柔らかい布やセーム革等で軽く拭き取ってください。万一、液晶モニタが破損した場合、ガラスの破損などでケガをするおそれがありますので十分ご注意ください。また、中の液晶が皮膚や目に付着したり、口に入ったりしないよう、十分ご注意ください。

●スミアについて

明るい被写体を写すと、液晶モニタ画像に縦に尾を引いたような（上下が帯状に白く明るくなる）現象が発生することがあります。この現象をスミア現象といい、故障ではありません。撮影された画像（動画を除く）には影響はありません。

バッテリーの取り扱いについて

●バッテリー使用上のご注意

- 使用期限の過ぎたバッテリーは使用しないでください。
- バッテリーを電源として長時間使用した後は、バッテリーが発熱していることがありますのでご注意ください。

●撮影の前にリチャージャブルバッテリーをあらかじめ充電する

撮影の際は、リチャージャブルバッテリーの充電を行ってください。付属のリチャージャブルバッテリーは、ご購入時にはフル充電されておりませんので、ご注意ください。

●予備バッテリーを用意する

撮影の際は、予備バッテリーをご用意ください。特に、海外の地域によってはリチャージャブルバッテリーの入手が困難な場合がありますので、ご注意ください。

●低温時のバッテリーについて

バッテリーには一般的な特性として、低温時には性能が低下します。低温時に使用する場合は、バッテリーおよびカメラを冷やさないようにしてください。

●低温時には容量の十分なバッテリーを使い、予備のバッテリーを用意する

低温時に消耗したバッテリーを使用すると、カメラが作動しない場合があります。低温時に撮影する場合は十分に充電されたリチャージャブルバッテリーを使用し、保温した予備のバッテリーを用意して暖めながら交互に使用してください。低温のために一時的に性能が低下して使えなかったバッテリーでも、常温に戻ると使える場合があります。

●バッテリーの接点について

バッテリーの接点が汚れていると、接触不良でカメラが作動しなくなる場合がありますので、バッテリーを入れる前に接点を乾いた布などで拭いてください。

●バッテリーの残量について

バッテリーの特性上、残量がなくなったバッテリーを再度カメラに入れた場合、バッテリーの残量が十分な状態を示す（バッテリー表示が何も表示されない状態）ことがありますのでご注意ください。

商標説明

- CompactFlash™（コンパクトフラッシュ）は米国SanDisk社の商標です。
- Microsoft® およびWindows® は米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- IBMはInternational Business Machines Corporationの米国における登録商標です。
- Macintosh、Mac OS、Power Macintosh、PowerBook、iMac、iBook、QuickTimeは米国およびその他の国で登録された米国アップルコンピュータ社の商標です。
- AdobeおよびAdobe AcrobatはAdobe Systems, Inc.（アドビシステムズ社）の商標、または特定地域における同社の登録商標です。
- MMXおよびPentiumは米国インテル社の登録商標です。
- その他の会社名、製品名は各社の商標、登録商標です。

別売アクセサリー

COOLPIX3500には次の別売アクセサリーが用意されています。詳しくは販売店にお問い合わせください。

リチャージャブルバッテリー	Li-ion リチャージャブルバッテリーEN-EL2
ACアダプタ	ACアダプタキットEH-60
ソフトケース	ソフトケースCS-E2500
コンパクトフラッシュカードアダプタ	PCカードアダプタEC-AD1
モニタフード	LCDフードHL-E2500

使用できるコンパクトフラッシュカード

付属のコンパクトフラッシュカードおよびニコンコンパクトフラッシュカードEC-CFシリーズ以外に、次の他社製カードが動作確認されております。

- SanDisk社製
  SDCFBシリーズ　16 MB、32 MB、48 MB、64 MB、96 MB、128 MB
- LEXAR MEDIA社製
  4X USBシリーズ　8 MB、16 MB、32 MB、48 MB、64 MB、80 MB
  8X USBシリーズ　8 MB、16 MB、32 MB、48 MB、64 MB、80 MB
  10X USBシリーズ　128 MB、160 MB

その他のメーカーのコンパクトフラッシュカードについては動作の保証はいたしかねます。上記コンパクトフラッシュカードの詳細については、各社にご相談ください。

インターネットをご利用の方へ

ニコンデジタルカメラの最新情報は、下記のアドレスのホームページ上でご覧いただけます。

http://www.nikon-image.com/jpn/ei_cs/index.htm

故障かな？と思ったら

カメラが正常に作動しないときは、お買い上げの販売店や当社サービス部門にお問い合わせいただく前に、下表の項目をご確認ください。点検しても直らない場合は、お買い上げの販売店または当社サービス部門までお問い合わせください。

こんな時は	ここをご確認ください	参照ページ
液晶モニタに何も写らない	• カメラの電源が入っていません。 • バッテリーが正しく装着されていません。またはバッテリーカバーがしっかりと閉まっていません。 • バッテリーの残量がありません。 • ACアダプタキットEH-60（別売）が正しく接続されていません。 • カメラが低消費電力モードになっています。シャッターボタンを半押ししてください。 • USBケーブルが接続されています。	6 16 24 — 65 —
カメラの電源が突然切れる	• バッテリーの残量がありません。 • バッテリーの温度が低すぎます。	24 90
液晶モニタに画質モードなど、カメラの設定内容の情報や画像情報が表示されない	• 設定情報や画像情報を非表示にセットしている可能性があります。設定情報または画像情報が表示されるまでマルチセレクターの◀ボタンを押してください。	7
液晶モニタの画面がよく見えない	• 周囲の光が明るすぎます。暗い場所に移動するか、別売のモニタフードHL-E2500を使用してください。 • 液晶モニタの明るさを調整してください。 • 液晶モニタが汚れています。	91 63 88

こんな時は	ここをご確認ください	👁
シャッターボタンを押し込んでも撮影できない	• カメラが再生モードになっています。 • バッテリーの残量がありません。 • 液晶モニタに「この位置では撮影できません」というメッセージが表示されます：レンズ部がカメラボディのフレームに隠れています。メッセージが消える角度までレンズ部を回転してください。 • スピードライトランプが点滅しています：スピードライトの準備中です。 • 液晶モニタに「フォーマットされていません」というメッセージが表示されます：コンパクトフラッシュカードがCOOLPIX3500用に初期化されていません。 • 液晶モニタに「メモリー残量がありません」というメッセージが表示されます：コンパクトフラッシュカードに画像を記録する空き容量がありません。	6 24 27 29 64、96 24
撮影した画像が暗すぎる（露出不足）	• スピードライトが発光禁止になっています。 • スピードライトが指などでさえぎられています。 • 被写体がスピードライトの光が届かない位置にあります。 • 露出補正値が低すぎます（－側）。	43 27、44 99 55
撮影した画像が明るすぎる（露出過度）	• 露出補正値が高すぎます（＋側）。	55
ピントが合わない	• オートフォーカスが苦手な被写体です。	29、30
画像がブレる	• 撮影中にカメラが動きました。次の方法で再度撮影してください。 －スピードライトを使用してください。 －BSS（ベストショットセレクタ）機能を使ってください。 －三脚を使用して、カメラを安定させてください（セルフタイマーを使うと効果的です）。	 43 59 —
ノイズが発生し、画像がザラつく	• シャッタースピードが遅すぎます。速いシャッタースピードで撮影するにはスピードライトを使用してください。 ※ シーンモードの夜景ポートレート、夜景がセットされている場合は、シャッタースピードの低速時にノイズ除去機能が自動的に作動します。撮影状況に合わせてこれらのシーンモードにセットすることをおすすめします。	37、43

こんな時は	ここをご確認ください	👁
スピードライトが発光しない	• スピードライトが発光禁止になっています。次の場合、スピードライトは自動的に発光禁止になりますのでご注意ください： －シーンモードで風景、夕焼け、夜景、ミュージアム、打ち上げ花火がセットされている場合 －撮影モードが 🎥（動画）モードにセットされている場合 －M📷モードで連写またはマルチ連写が選択されている場合 －M📷モードでBSSがオンになっている場合 • バッテリー残量が少なくなっています。	43 38～39 42 58 59 24
画像の色合いが不自然になる	• 適切なホワイトバランスが選択されていません。	56
MENUボタンを押してもメニューが表示されない	• 撮影モードが動画にセットされています。	42
画像を再生できない	• パソコンか他社製のカメラで、画像が上書きされました。または名前が変更されました。	—
1コマ再生画面でQUICK▶ボタンを押してもスモールピクチャーを作成できない	• カメラが簡易再生モードになっています。スモールピクチャーは再生モード時のみ作成できます。 • 表示画像が動画です。スモールピクチャーは静止画像からのみ作成できます。 • 表示画像がスモールピクチャーです。コンパクトフラッシュカードの空き容量が少ない場合、スモールピクチャーを作成できない場合があります。画像の削除などを行って、空き容量を確保してから作成してください。	74～75
再生時や簡易再生モードで画像の拡大表示ができない	• 表示画像が動画です。 • 表示画像がスモールピクチャーです。	76 74～75
カメラをパソコンに接続時、またはコンパクトフラッシュカードをカードリーダーやカードスロットに挿入したときに、Nikon Viewが自動的に起動しない	• カメラのスライドスイッチがOFFになっています。 • ACアダプタキットEH-60（別売）が正しく接続されていません。またはバッテリーの残量がありません。 • USBケーブルが正しく接続されていません。またはカードがカードリーダー、カードアダプタ、またはカードスロットに正しく挿入されていません。 • カメラのデバイス登録が正しく行われていません。 • セットアップメニューの「USB」を“PTP”に設定しています（Windows 2000 Professional、Windows Me、Windows 98SE、Mac OS 9の場合）。 Nikon ViewについてはNikon Viewリファレンスマニュアル（CD-ROM）をご参照ください。	6 19 — — 66

警告メッセージについて

液晶モニタに下記の警告メッセージが表示された場合は、修理やアフターサービスをお申し付けになる前に下記の対処方法をご確認ください。

液晶モニタの表示	原因	対処法	参照ページ
(時計アイコン)（点滅）	カメラの時計が設定されていません。	日付と時刻を設定してください。	21
電池残量がありません。	バッテリーの残量がありません。	カメラの電源スイッチをOFFにしてバッテリーを交換してください。	24
AF●（AF表示の赤色点滅）	ピントを合わせることができません。	シャッターを半押しして被写体と同じ距離のものにピントを合わせ、そのまま構図を元にもどして撮影してください。	29～30
(手ブレアイコン)	シャッタースピードが低下して手ブレのおそれがあります。	次の方法でカメラを安定させてください。 • スピードライトを使用する • 三脚を使用する • 安定した場所におく • 体に肘を付けて、両手でしっかりとカメラを固定する	28、37、43～45
この位置では撮影できません レンズの向きを確認してください	レンズがカメラボディのフレームに隠れています。	メッセージが消える角度までゆっくりとレンズ部を回転してください。	27
(砂時計アイコン) カード記録中 しばらくおまちください	• 画像の記録中にスライドスイッチをOFFか▶にセットしました。 • 画像の記録中にQUICK▶ボタンが押されました。	カードへの記録が終了して警告表示が消灯するまでお待ちください。	31 32
(カードアイコン) カードが入っていません	カメラがコンパクトフラッシュカードを認識できません。	スライドスイッチをOFFにして、コンパクトフラッシュカードが正しく挿入されていることを確認してください。	16
(カードアイコン) このカードは使用できません	コンパクトフラッシュカードへのアクセス異常です。	• 動作確認済みのコンパクトフラッシュカードをご使用ください。 • カードの端子部分が汚れていないかご確認ください。カードが破損している場合は販売店、または当社サービス部門にご相談ください。	91 —

液晶モニタの表示	原因	対処法	参照ページ
カード不良があります	コンパクトフラッシュカードへのアクセス異常です。	• 動作確認済みのコンパクトフラッシュカードをご使用ください。 • カードの端子部分が汚れていないかご確認ください。カードが破損している場合は販売店、または当社サービス部門にご相談ください。	91 —
フォーマットされていません フォーマットする いいえ ▷	コンパクトフラッシュカードが、COOLPIX3500仕様にフォーマットされていません。	マルチセレクターの▲ボタンを押して、「フォーマットする」を選択し、▶を押してカードをフォーマットするか、カメラの電源スイッチをOFFにして、適切なカードに交換してください。	64
メモリー残量がありません	画像を記録する空き容量がありません。	• 画質モード、または画像サイズを変更してください。 • 不要な画像を削除してください。 • 新しいカードを挿入してください。	53～54 78 16
	画像を転送するための通信情報を書き込む容量がありません。（カメラとパソコンを接続し、∿ボタンを押した場合のみ）	不要な画像を削除し、再度∿ボタンを押してください。	78
画像を登録できません	• コンパクトフラッシュカードのフォーマットが異なります。 • 画像の保存中にエラーが発生しました。 • ファイル番号のオーバーフローです。 • 再生モードでスモールピクチャーを表示中にSMALL PIC.（QUICK▶）ボタンが押されました。	• コンパクトフラッシュカードを再フォーマットしてください。 • 新しいコンパクトフラッシュカードに入れ換えるか、画像ファイルを削除してください。 • スモールピクチャーからスモールピクチャーを作成することはできません。	64 16、78 75

液晶モニタの表示	原因	対処法	[ページ参照]
撮影画像がありません	コンパクトフラッシュカードに撮影された画像が入っていません。	• レビュー再生モード時：シャッターボタンを押して撮影してください。 • [再生]にセットされている時：スライドスイッチを[撮影]に合わせて撮影してください。	33 24
このファイルは表示できません	パソコン、または他社のカメラで作成したファイルです。	• ファイルを削除してください。 • コンパクトフラッシュカードを再フォーマットしてください。	78 64
通信エラーです	パソコンに画像転送中、インターフェースケーブルの接続が外れたか、コンパクトフラッシュカードが取り出されました。	パソコンのモニタに警告メッセージが表示された場合、[OK] をクリックしてNikon Viewを終了してください。スライドスイッチをOFF にした後、ケーブルを再接続するか、コンパクトフラッシュカードを交換して、もう一度スライドスイッチをOFF以外にしてください。	16、85
	ご使用のパソコンのOS、カメラのUSB通信方式の組み合わせでは、カメラの[転送] ボタンは使用できません。	カメラの電源をOFFにセットし、いったんUSBケーブルを外してセットアップメニューを変更し直した後、パソコンと再度接続してください。この操作で警告メッセージが消えない場合には、Nikon Viewの転送ボタンをご使用ください。	66
転送マーキングされた画像がありません	転送設定された画像がないときに[転送]ボタンでパソコンに画像を転送しようとしました。	カメラとパソコンの接続を外し、少なくとも 1 枚以上の画像に転送設定をセットして、再接続してください。	34、71、84
転送エラー	画像転送中にエラーが発生しました。	カメラとパソコンが正しく接続されていること、およびバッテリーが十分に充電されていることを確認してください。	24、85
システムエラー	カメラの内部回路にエラーが発生しました。	スライドスイッチをOFFにして、ACアダプタを使用している場合はアダプタを外して、バッテリーを取り出します。再度バッテリーを入れて、スライドスイッチをOFF 以外にしてください。システムエラーの表示が続く場合は当社サービス部門までご連絡ください。	16

主な仕様

形式		ニコンデジタルカメラE3500
有効画素数		3.2メガピクセル
撮像素子		1/2.7型CCD、総画素数3.34メガピクセル
	画像サイズ（pixel）	•2048×1536（2048）•1024×768（1024）•1600×1200（1600）•640×480（640）•1280×960（1280）
レンズ		3倍ズームニッコールレンズ
	焦点距離	f＝5.6～16.8 mm（35mm判換算37～111 mm）
	絞り	F2.7～F4.8
	レンズ構成	6群7枚
電子ズーム		最大4倍
オートフォーカス		コントラスト検出方式
	撮影距離	レンズ前約30cm～∞（クローズアップモード時は約4cm（ズームのミドルポジション）～∞）
	AFエリア	5カ所、自動選択
液晶モニタ		1.5型低温ポリシリコンTFT液晶、110,000画素、輝度調節機能付き（5段階）
	視野率（撮影時）	上下左右とも約97%（対実画面）
記録形式		
	記録媒体	コンパクトフラッシュカード（Type Ⅰ）
	画像ファイル	Design rule for Camera File Systems (DCF)、Exif 2.2準拠、Digital Print Order Format(DPOF)準拠
	ファイル形式	圧縮：JPEG-Baseline準拠 動画：QuickTime

露出		
	測光方式	マルチ測光（256分割）
	露出制御	プログラムオート 露出補正（－2～＋2EV、1/3EVステップ）可能
	露出連動範囲	広角側：EV1.9～EV16.9 望遠側：EV3.5～EV18.6
シャッター		メカニカルシャッターとCCD電子シャッターの併用
	シャッタースピード	2～1/3000秒
絞り		電磁駆動による開口選択方式
	制御段数	2（F2.7、F4.5［広角側］）
撮像感度		ISO50相当、オートゲインアップ機能あり
セルフタイマー		10秒
内蔵スピードライト		
	調光範囲	約0.4～約3.0m（広角側） 約0.4～約1.7m（望遠側）
	調光方式	自動調光制御
インターフェース		USBインターフェース
電源		•Li-ionリチャージャブルバッテリーEN-EL2（付属）1個使用 •ACアダプタキットEH-60（別売）
連続撮影時間		約80分（EN-EL2使用時） ※ 測定条件は当社条件（撮影毎にズーム、約3割のスピードライト撮影、2048、NORMALモード）によります。
大きさ		約114（W）×59.5（H）×31.5（D）mm
質量（重さ）		約175g（バッテリー、コンパクトフラッシュカード除く）

動作環境	
温度	0～40℃
湿度	85%以下（結露しないこと）

仕様中のデータは、すべて常温（20 ℃）、付属のリチャージャブルバッテリーEN-EL2をフル充電で使用時のものです。
仕様・性能は予告なく変更することがありますので、ご了承ください。
使用説明書の誤りなどについての補償はご容赦ください。

索引

カスタマーサポートについて

■この製品の操作方法についてのお問い合わせは

この製品の操作方法について、さらにご質問がございましたら下記のニコンカスタマーサポートセンターまでお問い合わせください。

〒140 - 0015
東京都品川区西大井 1 - 4 - 25（コア・スターレ西大井第一ビル 2F）
ニコンカスタマーサポートセンター

市内通話料でOK ナビダイヤル®

TEL 0570 - 02 - 8000

受付時間：祝日を除く月〜金（9：30 〜 18：00）
＊このほか年末年始、夏期休暇など、都合により休業する場合があります。

- お電話は、市内通話料金でご利用いただけます。
- 全国共通電話番号「0570 - 02 - 8000」にお電話いただき、音声によるご案内にしたがってご利用の製品グループ窓口の番号を入力していただければ、お問い合わせ窓口担当者よりご質問にお答えさせていただきます。
- 携帯電話、PHS 等をご利用のお客様は、**03 - 5977 - 7033** におかけください。
- FAX でのご相談は、**03 - 5977 - 7499** におかけください。

■お願い

- お問い合わせいただく場合には、次ページの「お問い合わせ承り書」の内容をご確認の上お問い合わせください。
- より正確、迅速にお答えするために、ご面倒でも次ページの「お問い合わせ承り書」の所定の項目にご記入いただき、FAX または郵送でお送りください。「お問い合わせ承り書」は、コピーしていただくと、繰り返しお使いいただけます。

■製品の修理に関するお問い合わせは

〒140 - 8601
東京都品川区西大井 1 - 6 - 3
株式会社ニコン　大井サービス課
TEL　03 - 3773 - 2221　　受付時間：祝日を除く月〜金（9：00 〜 17：45）
＊都合により休む場合があります。

■インターネットご利用の方へ

- ソフトウェアのアップデート、使用上のヒントなど、最新の製品テクニカル情報を次の当社 Web サイトでご覧いただくことができます。

http://www.nikon-image.com/jpn/ei_cs/index.htm

- 製品をより有効にご利用いただくため定期的にアクセスされることをおすすめします。

ニコンカスタマーサポートセンター　行

TEL 0570 - 02 - 8000　　FAX 03 - 5977 - 7499

【お問い合わせ承り書】太枠内のみご記入ください。

お問い合わせ年月日：	年　月　日
お買い上げ年月日：	年　月　日
製品名：	シリアル番号：
フリガナ お名前：	
連絡先ご住所：□自宅　□会社 〒 TEL： FAX：	
ご使用のパソコンの機種名： メモリ容量： OS のバージョン： その他接続している周辺機器名： ご使用のアプリケーションソフト名： ご使用の当社ドライバソフトウェアのバージョン：	 ハードディスクの空き容量： ご使用のインターフェースカード名：
問題が発生したときの症状、表示されたメッセージ、症状の再現： （おわかりになる範囲で結構ですので、できるだけ詳しくお書きください。）	

※このページはコピーしてお使いください。

整理番号：

Nikon

■アフターサービスのご案内

■技術的なお問い合わせのご案内

内容および操作に関する技術的なお問い合わせは、下記ニコンカスタマーサポートセンターをご利用ください。

＜ニコンカスタマーサポートセンター＞

140-0015　東京都品川区西大井1-4-25（コア・スターレ西大井第一ビル2階）

0570-02-8000
市内通話料金でご利用いただけます。

全国共通電話番号「0570-02-8000」にお電話を頂き、音声によるご案内に従いご利用の製品グループ窓口の番号を入力して頂ければ、お問い合わせ窓口担当者よりご質問にお答えさせて頂きます。

営業時間　9:30～18:00（土・日曜日・祝日を除く毎日）

・このほか年末年始、夏期休暇等、休業する場合があります。

携帯電話、PHS等をご使用の場合は、**03-5977-7033**におかけください。
FAXでのご相談は、**03-5977-7499**におかけください。

株式会社 ニコン

Printed in Japan
S2G02000101(10)
6MAA3810--